

取扱説明書 呼気アルコール測定器 ST-3000



※本書に記載されているイラストはイメージです。

もくじ

ご使用前に

●使い方の流れ	2
●設定操作のフロー	3
●センサーモジュール交換と本器修理	4
●センサーモジュール交換の実施	5
●安全上のご注意	5
●測定上のご注意	6
●精度を保つためのお願い	8
●各部の名称	9
●表示画面説明	10

使い方

●センサーモジュールの取り付け	11
●ACアダプタを使用する	12
●電池を使用する	13
●設定をする	14
●測定操作のフロー	24
●測定準備	25
●測定する	26
●クリーニング	30
●センサー寿命	31
●メモリー	32
●設定を変更する	36
●通信設定	38

必要なときに

●簡易点検	41
●センサーモジュール交換について	42
●故障かなと思ったら	43
●仕様	裏表紙

このたびは、呼気アルコール測定器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時はすぐに取り出せるよう、身近で大切に保管してください。

使い方の流れ

1.準備する

センサーモジュールの取り付け(P11) ACアダプタを使用する(P12)
電池を使用する(P13)

2.設定する

以下の基本的な設定をします。

- 電源を入れます。(P14)
- 年月日の設定をする(P14~P15)
- 時計の設定をする(P16)
- 設定モードに入る(P17)
- 音量の設定をする(P17~P18)
- 呼気中アルコール濃度測定範囲の設定をする(P19~P20)

以下の設定ができます。

- パスワードの変更をする(P21~P22)
- パスワードの初期化をする(P23)

3.使い方

測定準備

- センサーモジュールにマウスピースを取り付けます。(P25)

測定する

- 測定開始(P26~P28)
- 測定結果(P28~P29)
- クリーニング(P30)
- センサー寿命(P31)

メモリー

- メモリーをみる(P32~P33)
- メモリーのクリアをする(P34)
- メモリーのオールクリアをする(P35)

設定を変更する

- 年月日・時計の設定を変更する(P36~P37)

通信設定 ※サーマルプリンタが付属されていないとサーマルプリンタの設定はできません。

- 通信の設定をする(P38)
- 1) USB通信の設定をする(P38)
- 2) サーマルプリンタの設定をする(P39)
- 3) USB通信+サーマルプリンタの設定をする(P39)
- 4) 通信やサーマルプリンタを未設定にする(P40)

簡易点検 ※簡易点検に使用する簡易点検キットの取り扱いが終了しております。

そのため、簡易点検の機能を使用することはできません。

- 簡易点検に入ってしまったら(P41)

使用目的に関するご注意

警告



道路交通法第65条第1項には、「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない。」と遵守事項が定められています。本器の測定データは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料であって、運転の可否を判断するものではありません。測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行って良いか否かの判断に対して、本器の製造者、および販売に携わる関係者は一切責任を負いません。

設定操作のフロー

設定する
P14電源を入れます。

設定する
P14~P16年月日・時計の設定をする

設定する
P17 ID入力画面表示(メイン画面)

設定する
P17パスワード入力
工場出荷時パスワード「0000」
P23パスワードの初期化をする

簡易点検
P41簡易点検に入ってしまったら

設定する
P14~P16年月日・時計の設定をする

設定を変更する
P36~P37年月日・時計の設定を変更する。

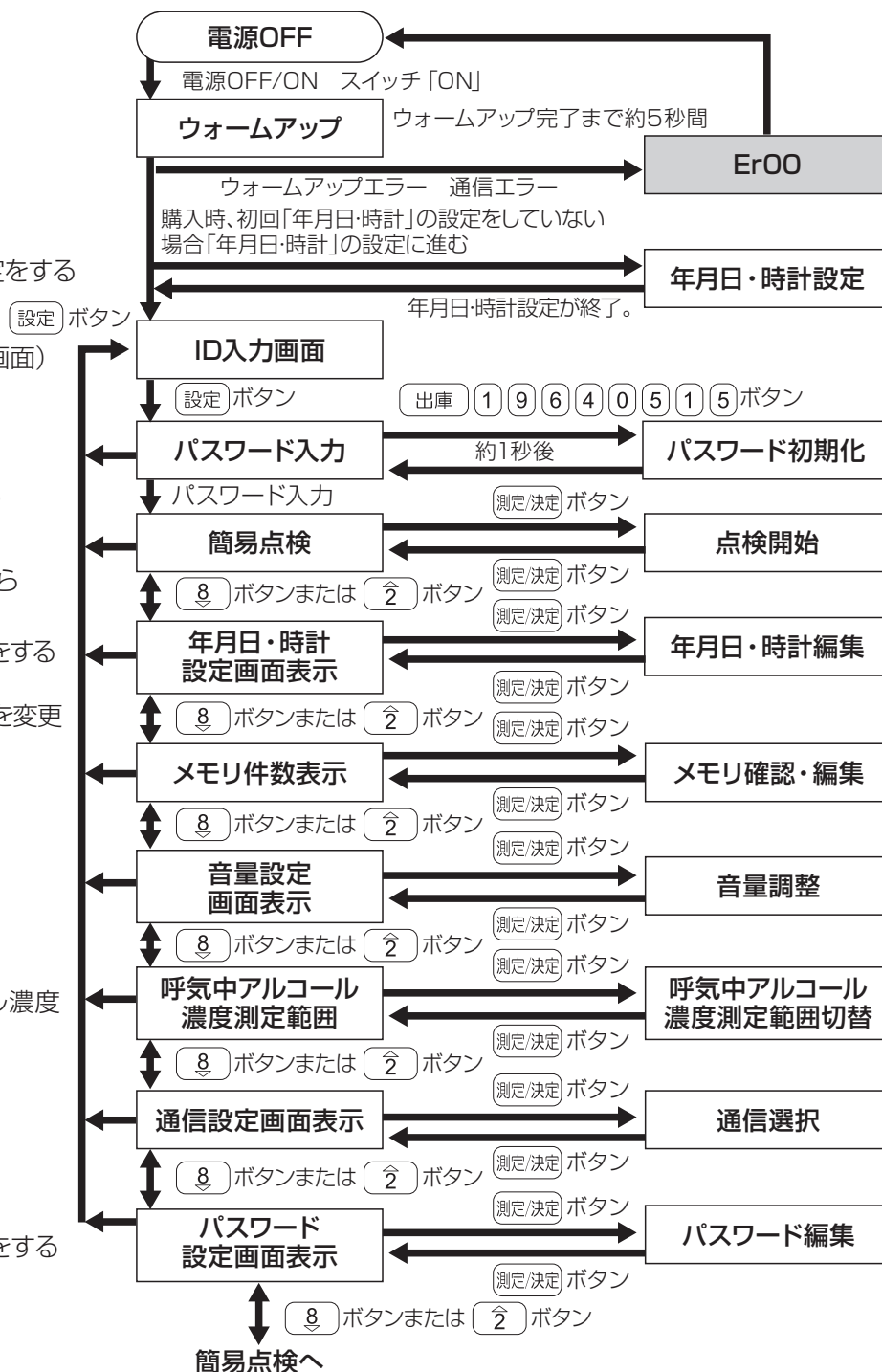
メモリー
P32~P35メモリーをみる

設定する
P17~P18音量の設定をする

設定する
P19~P20呼気中アルコール濃度
測定範囲の設定をする

通信設定
P38~P40通信の設定をする

設定する
P21~P22パスワードの変更をする



ご使用前に

センサーモジュール交換と本器修理

※センサーモジュールは、本器に取りつける測定部のことです。(P9「各部の名称」を参照してください。)

センサーモジュール交換と本器修理の手続き方法

センサーモジュール交換と本器修理の手続きの流れを説明します。

■センサーモジュール交換の必要性について

- この商品は性能を維持するため、センサーモジュール交換を推奨しています。センサーモジュール交換を実施するため以下の内容をお読みいただきご使用ください。(P45「センサーモジュール交換について」を参照してください。)

1 センサーモジュール交換 窓口：サンコーテクノ株式会社

センサーモジュール交換実施日までにサンコーテクノ株式会社より連絡いたします。
※センサーモジュール70,000回測定した場合はサンコーテクノ株式会社へご連絡ください。

電話：0120-071-735
FAX：04-7155-6325
受付時間/24時間

1 本器の修理 窓口：サンコーテクノ株式会社

サンコーテクノ株式会社にお電話にて、「修理」をご依頼ください。

電話：0120-071-735
FAX：04-7155-6325
受付時間/24時間

2 センサーモジュールの保証書をお手元にご用意ください。

※保証書を紛失された場合は、サンコーテクノ株式会社へご連絡いただき、その旨お伝えください。

2 本器の保証書をお手元にご用意ください。

※保証書を紛失された場合は、サンコーテクノ株式会社へご連絡いただき、その旨お伝えください。

3 担当者より、受け渡し等の手順をご説明いたします。

会社名などの必要事項を確認し、センサーモジュール交換品のお届け、必要代金等をご案内いたします。

3 担当者より、受け渡し等の手順をご説明いたします。

会社名などの必要事項を確認し、修理品の回収、修理終了品の納期、必要代金等をご案内いたします。

4 センサーモジュール交換品のお届け

本器ご購入時に登録された送付先宛にお届けいたします。
※送り先を変更される場合は、あらかじめセンサーモジュール交換のご依頼の際にお伝えください。

4 修理品のお届け

本器ご購入時に登録された送付先宛にお届けいたします。
※送り先を変更される場合は、あらかじめ修理のご依頼の際にお伝えください。

5 お届けしたセンサーモジュール交換品を通常通りご使用ください。

お届けしたセンサーモジュール交換品には新たな保証書が入っておりますので、必要事項をご記入のうえ大切に保管してください。

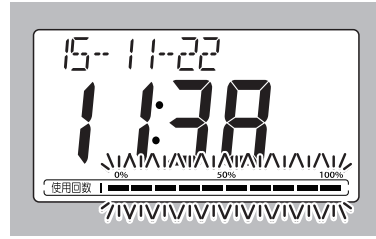
5 お届けした修理終了品、新規交換品を通常通りご使用ください。

新規交換品の場合、新たな保証書が入っておりますので、必要事項をご記入のうえ大切に保管してください。

■センサーモジュール交換の実施

校正有効期限の月まで使用または、70,000回測定した場合（どちらか早い方）はセンサーモジュールを交換してください。

1. 70,000回測定した場合



- ※測定を途中で中止したり、Erが出た場合はカウントされません。
- ※使用回数70,000回以上でセンサー使用回数寿命バーグラフが全て点滅します。
- ※測定結果がきちんと表示された測定の回数を自動的にカウントします。
- ※使用回数が75,000回以上で測定できません。「Er06」表示されます。

2. 校正有効期限の月まで使用した場合

- ※使用回数に関わらずセンサーの精度が時間とともに低下しています。
- ※この場合は、センサー使用回数寿命バーグラフは表示しませんのでご注意ください。
- ※本器はセンサーの特性上、校正有効期限の月まで使用または、70,000回以上測定すると一定の精度を保持できなくなる可能性があります。このような場合には精度の保証は致しかねますのでセンサーモジュール交換を必ず実施してください。

安全上のご注意

本書では、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示で説明しています。その表示と意味をよく理解してから本文をお読みいただき、本器を安全に正しくお使いください。

	警告	この表示の欄は、誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負うおそれのある」内容を表示しています。			
	注意	この表示の欄は、誤った取扱いをすると、「使用者が軽傷を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容を表示しています。			
	禁止	してはいけない「禁止」内容です。		必ず守る	必ず守っていただく内容です。
お願い	本器を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。		お知らせ	本器の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。	

安全上のご注意

警告



●お酒を飲んでの自動車等の運転は、絶対にしないでください。

- ▶飲酒運転は法律で禁止されています。
- ▶お酒を飲んでいても、使い方によっては本器で検知できないおそれがあります。



●本器のデータのみで飲酒運転の有無の判断を行なわないでください。

- ▶本器の測定データは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料としてのみお使いください。使い方や故障などにより、正確な結果が出ないおそれがあるため、本器のデータのみで飲酒の有無の判断は行なわないでください。
- ▶測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行ってよいか否かの判断に対して、本器の製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任を負いません。



●ご使用前およびご使用中に本器に異常が確認されたら、直ちに使用を中止する。

- ▶異常があるままご使用されると、けがをするおそれや正しく測定できないおそれがあります。



●分解や改造は絶対にしないでください。

- ▶センサーには酸性の材料が使われていますので怪我をするおそれがあります。眼に入ると失明することがあります。
- ▶万が一付着した場合、直ちに付着部分を多量の水で15分以上洗い流し、医師の処置を受けてください。



●ACアダプタをご使用の場合、濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。

- ▶感電の原因となる恐れがあります。
- ▶ACアダプタをご使用の場合には、本器の性能、品質の維持のため必ず専用ACアダプタをご使用ください。
- ▶100V以外のコンセントでは使用できません。

測定上のご注意

警告



●車両の運転や機械の操作の最中に測定を行なわないでください。

- ▶注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

自動車等の運転中に本器を使用したことに起因する事故の責任に対して本器の製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任を負いません。



●複数の人で一つのマウスピースを使い回さないでください。

- ▶本器一台を複数の人が使用する場合には、それぞれの人が必ず自分のマウスピースを使用してください。

測定上のご注意

警告



- 測定の際マウスピースをくわえて、口から息を吸い込まないでください。
▶誤って吸い込むと、故障したり、けがをするおそれがあります。



- 唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意してください。
▶故障の原因になります。



- 他の通信機能付きの機器、電磁波を発生する家電製品、および強力な電磁波のある環境では使用しない。
▶本器が誤動作して電池寿命に影響を及ぼすおそれや、正確に測定できないおそれがあります。
電子レンジやワイヤレス通信機器、および電線、発電所、電波塔の近くなどから可能な限り遠くに離れてご使用ください。

注意



- アルコールを含む除菌剤などを使用した直後に本器を触らない。また、本器の近くにアルコールを含む除菌剤などを置かない。
▶測定時にアルコールを検知した数値を表示し、正しい測定ができなくなります。また、数値がゼロに戻りにくくなったり、故障のおそれがあります。アルコールを含む除菌剤などを使用した場合は、しばらく時間をおいてからご使用ください。

お願い

- マウスピースに強いにおいや汚れがある場合はマウスピースを交換してください。
▶においや汚れが付着している場合、正しく測定できないおそれがあります。

お知らせ

- 本器は呼気中のアルコール濃度を測定するための機器です。
お酒を飲んでいなくても、アルコール成分を含んだ飲食物を摂取した後や強いにおいを含んでいる物を口にした後には、センサーが検知することがあります。
例:たばこ オーラルケアグッズ 等
▶うがいをして再度測定してください。
▶飲食後20分以上経過してから、測定してください。

精度を保つためのお願い

本器は精密に作られております。故障・誤動作・測定精度低下を防ぐため、次のことを守ってご使用ください。

取り扱いについて



禁止

- 本器、センサーモジュールの水洗いは絶対に行なわないでください。
 - ▶故障の原因になります。
- 過度の衝撃や振動を与えないでください。
 - ▶故障の原因になります。
- 10℃以上の温度差がある場所に移動させた場合、2時間以上放置してからご使用ください。
 - ▶正しい測定ができない場合があります。

保管について



必ず守る

- 保管の際は必ずセンサー部にセンサーキャップをつけて保管してください。
また、次のようなところには絶対に保管しないでください。故障の原因になります。
- 芳香剤、たばこ、スプレー等においの強いところ。
- 直射日光の当たるところ。
- 暖房器具に近いところ。
- 温度や湿度の変化が大きいところ。
- 保管温度範囲外のところ。
- 湿度が高く、水のかかるようなところには保管しないでください。
- 湿度の低いところに長時間保管しないでください。
- ほこりが発生しやすいところには保管しないでください。
- トイレ内及び近くなどにアンモニアの影響があるところでは保管しないでください。
- アルコール類と一緒に保管しないでください。
 - ▶センサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

センサーモジュール交換について



必ず守る

- 必要な時期になりましたらセンサーモジュール交換を必ず行なってください。
 - ▶センサーモジュール交換を行わずに使用された場合、精度の保証は致しかねます。
詳しくは「センサーモジュール交換について」を参照してください。(P45)

日常のお手入れについて



必ず守る

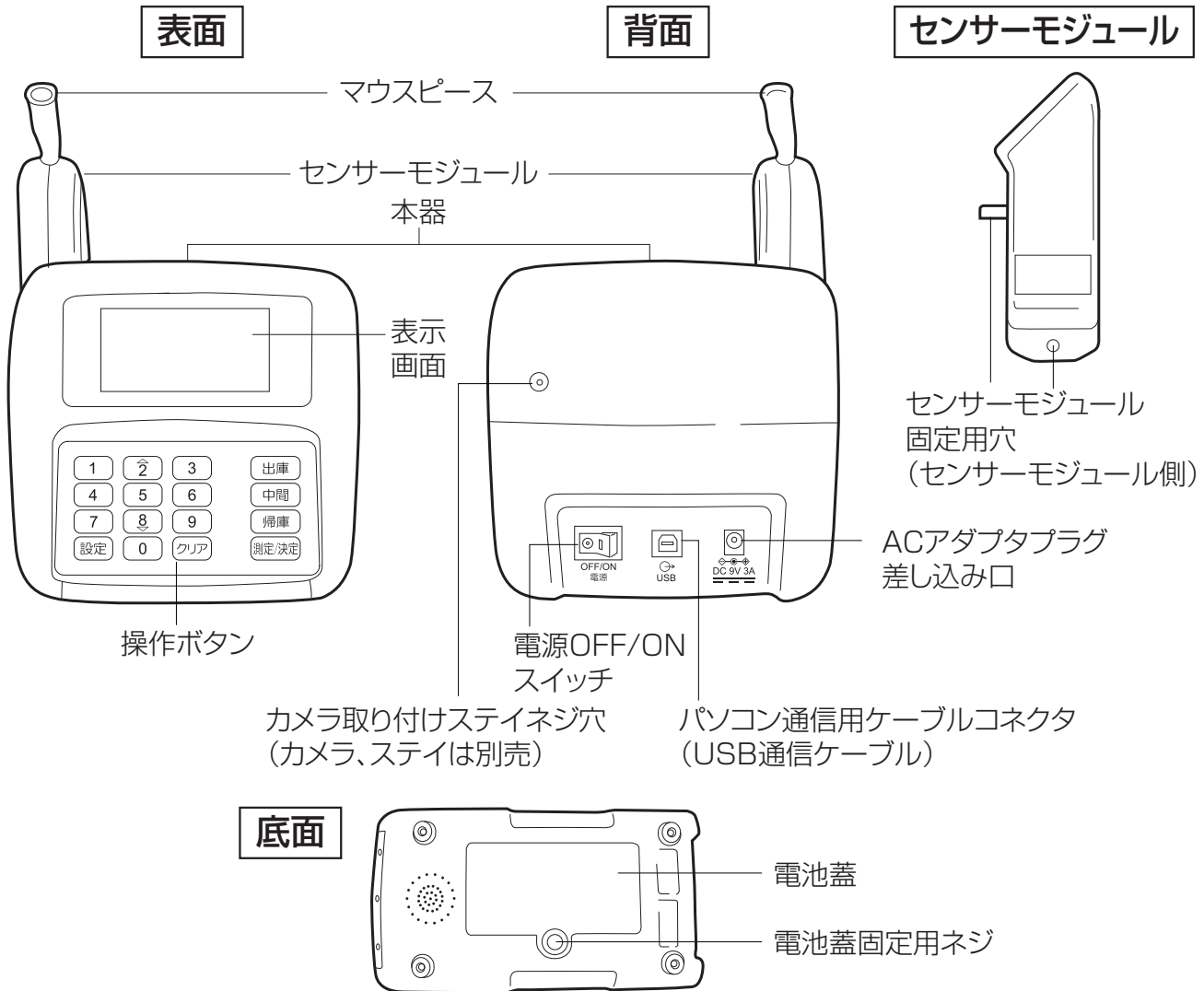
[本器、センサーモジュール]

- 本器、センサーモジュールの汚れは水で湿らせ固く絞った柔らかい布で拭いてください。
 - ▶清掃に熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。
 - ▶薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

[マウスピース]

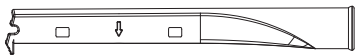
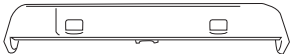
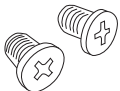
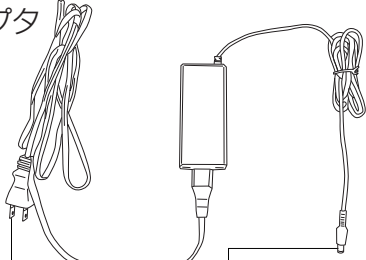
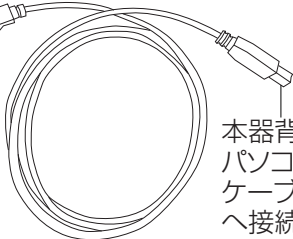
- ご使用いただく前に、マウスピースに亀裂などの異常がないか確認してください。
 - ▶異常がある場合は使用しないでください。
- マウスピースを洗浄するときは、水洗いしてください。
 - ▶熱湯や洗剤、ベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。
 - ▶薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

各部の名称



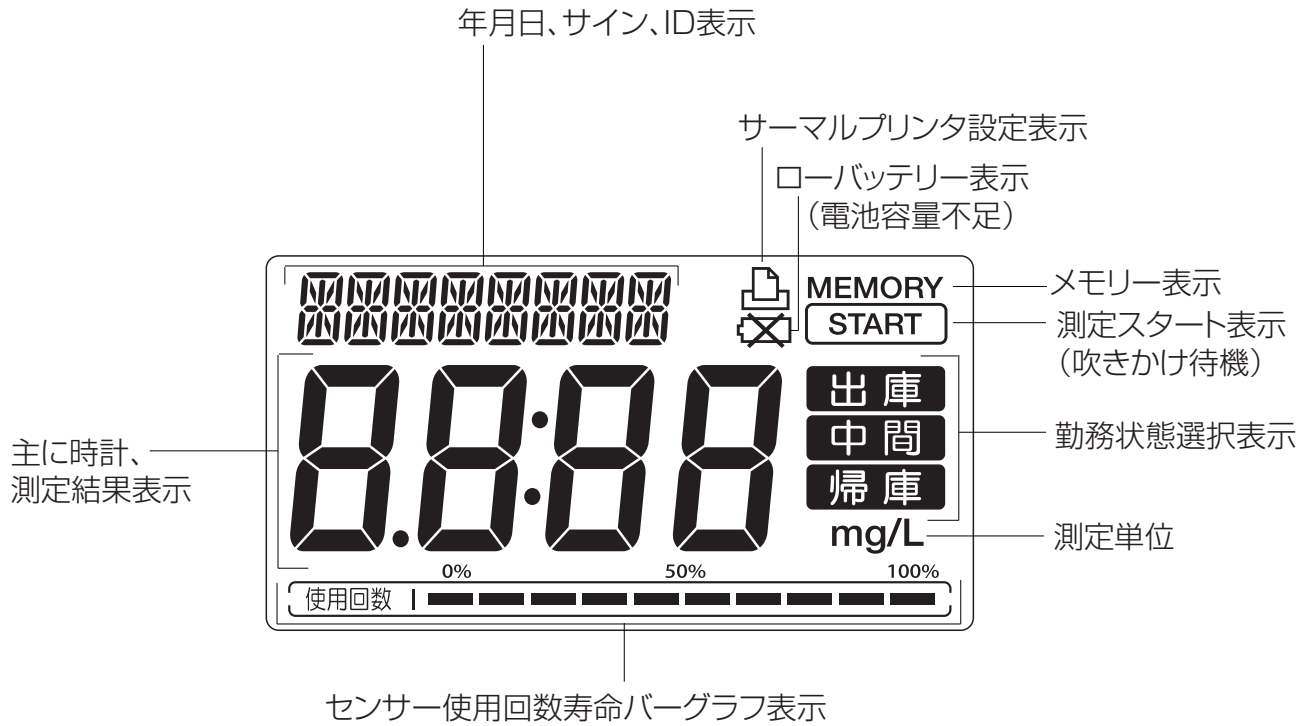
ご使用前に

付属品の確認

- 取扱説明書(本器用) 保証書(本器用)
 - 取扱説明書(センサーモジュール用)
 - 保証書(センサーモジュール用)
 - 専用マウスピース/ 10個 
 - 専用センサーキャップ (センサーモジュール装着済) 
 - センサーモジュール
 - センサーモジュール固定用ネジ/2本 
 - ACアダプタ 
 - パソコン通信用ケーブル (USB通信ケーブル) 
- 100Vコンセントへ接続
- 本器背面 ACアダプタプラグ差し込み口へ接続
- パソコン側 USBコネクタへ接続
- 本器背面 パソコン通信用ケーブルコネクタへ接続

※不足しているものがありましたら、サンコーテクノ株式会社(裏表紙参照)までご連絡ください。付属品は付属品専用の箱に入っていますので確認してください。

表示画面説明



センサーモジュールの取り付け

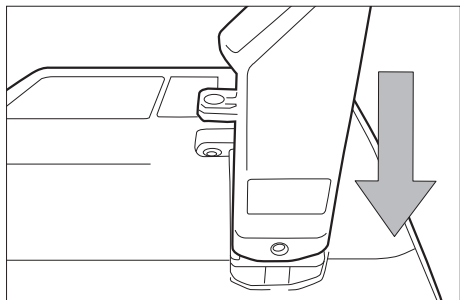


必ず守る

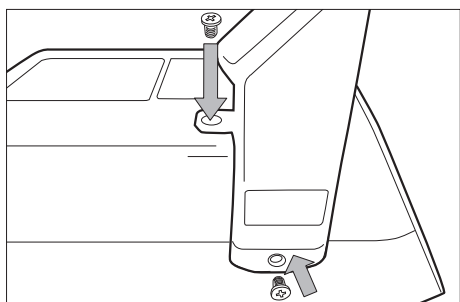
- センサーモジュールを交換するときは、必ず本器の電源をOFFにしてください。
▶故障するおそれがあります。

センサーモジュールを交換するときは、市販のプラスドライバーでセンサーモジュール固定用ネジを外してから、センサーモジュールを引き抜いてください。

センサーモジュールの着脱時は、手や指にけがをしないよう注意してください。



- 1.センサーモジュールのガイドに沿ってスライドさせコネクタにしっかり差し込む。



- 2.センサーモジュール固定用ネジで本器に固定する。(2ヶ所)

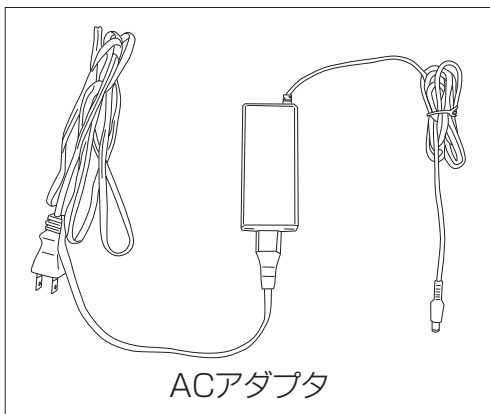
以上でセンサーモジュールの取り付けは終了です。

ACアダプタを使用する

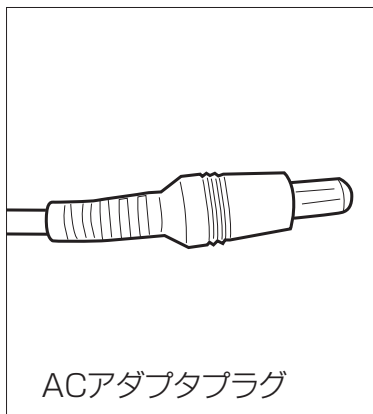


禁止

- ACアダプタをご使用の場合、濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
 - ▶感電の原因となる恐れがあります。
 - ▶ACアダプタをご使用の場合には、本器の性能、品質の維持のため必ず専用ACアダプタをご使用ください。
 - ▶100V以外のコンセントでは使用できません。



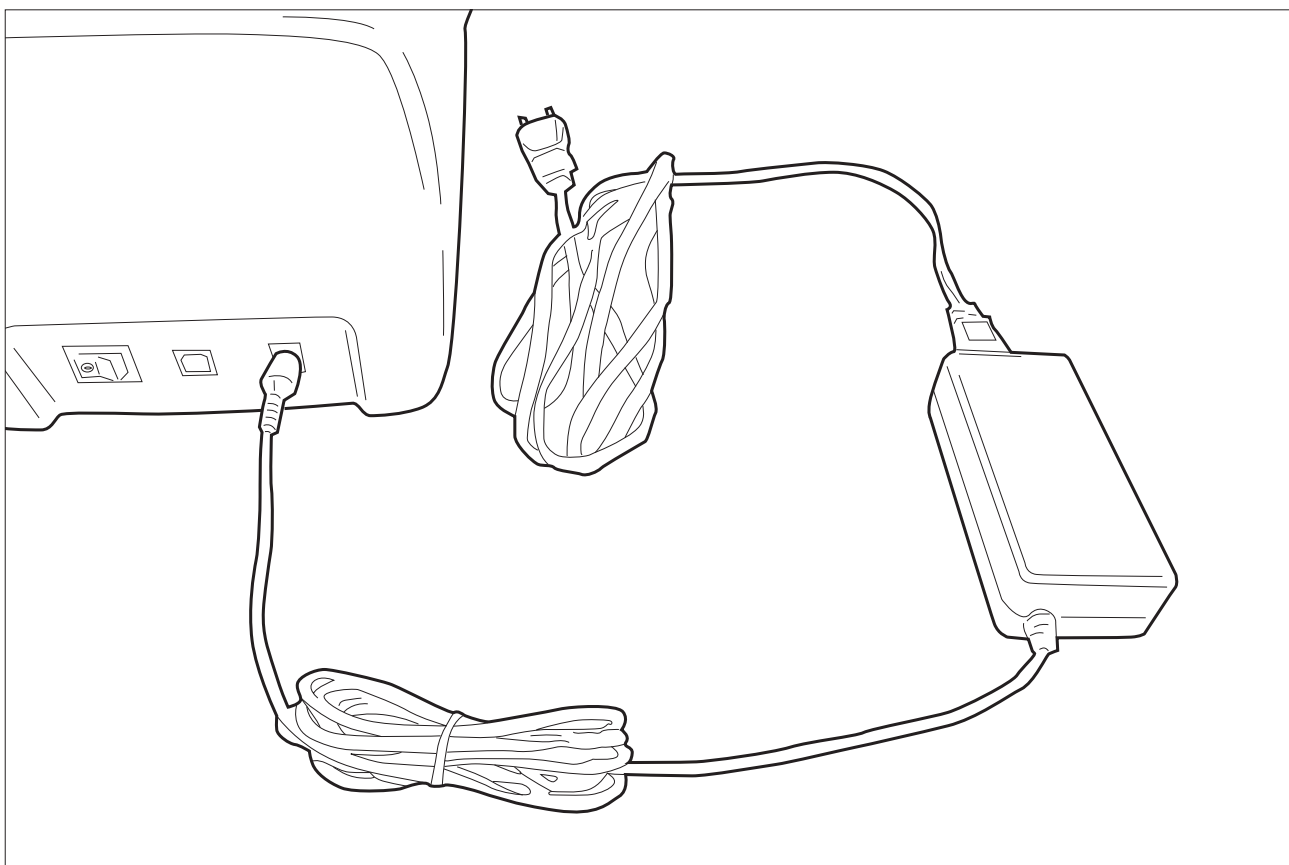
ACアダプタ



ACアダプタプラグ



ACアダプタプラグ差し込み口



- ACアダプタプラグを本器背面のACアダプタプラグ差し込み口に差し込み、片側を100Vコンセントに差し込んでください。


電源が入る状態なので電源を入れて各項目の設定や測定することができます。

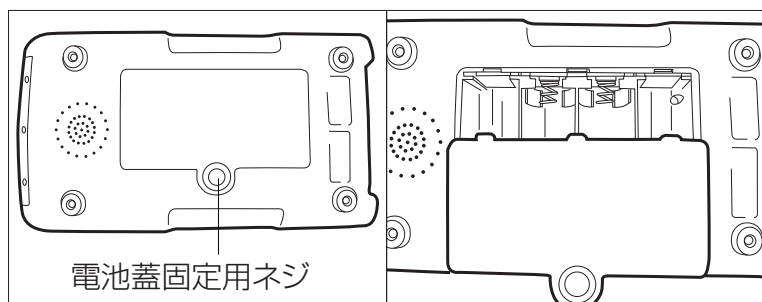
P14「設定する ●電源を入れます。」に続きます。

電池を使用する

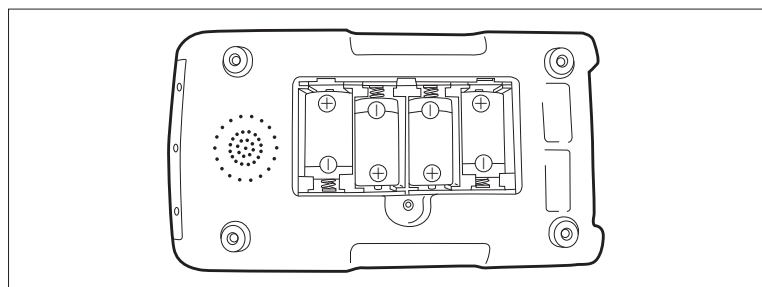
お知らせ

- 乾電池は付属しておりませんので別途ご購入してください。
- 乾電池は非常用としてご使用ください。
- 乾電池でご使用の場合、プリント動作しませんので注意してください。

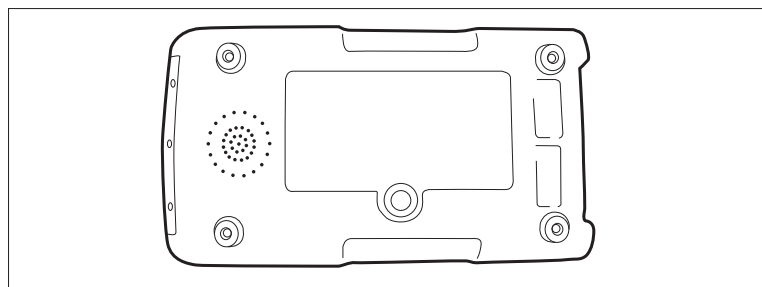
表示画面に  が表示された場合、乾電池が消耗しています。
速やかに単1アルカリ乾電池4本と交換してください。



- 1.本器底面の電池蓋を外す。
電池蓋固定用ネジをゆるめていくと電池蓋が外れます。



- 2.電池の極性(⊕、⊖)を間違えないように注意して、電池(単1アルカリ乾電池)を入れる。



- 3.電池蓋を取り付ける。
電池蓋を入れ電池蓋固定用ネジをしめて固定してください。



必ず守る

- 指定の電池(単1アルカリ乾電池)以外は絶対に使用しないでください。電池は必ずアルカリ乾電池を使用してください。マンガン乾電池、充電式乾電池は使用しないでください。
- 乾電池を使用しないときは、本器から取り出してください。
 - ▶故障の原因になります。
- 電池は⊕⊖の方向を正しく入れてください。
 - ▶間違えると故障の原因になります。

お願い

- 古い電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。

設定をする

●電源を入れます。



1.本器背面部の電源OFF/ONスイッチを「ON」にして電源を入れる。

「しばらくお待ちください。」と音声案内をします。

●ウォームアップをする。



2.年月日設定画面表示に切り替わる。
設定範囲は2014年～2049年です。

お知らせ

●ウォームアップエラー「Er00」が発生することがあります。

▶センサーモジュールを本器に取り付けていないと「エラーが発生しました。電源を入れなおしてください。」と音声案内をして「Er00」が表示します。

▶センサーモジュールを本器に取り付けてから本器背面部の電源OFF/ONスイッチで電源を入れなおしてください。

Er00

年月日の設定をする

お願い

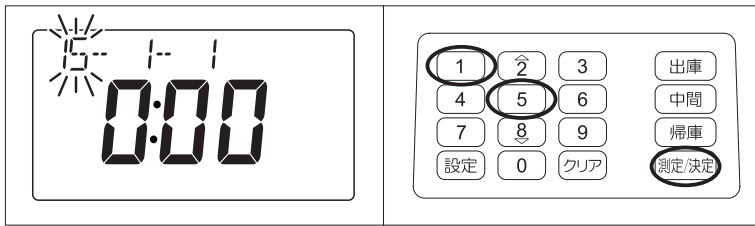
- 各操作ボタンを操作するときは、爪の先や先端部が鋭く硬いもので押さないでください。
▶故障するおそれがあります。

●購入時、初回は初期設定として年月日・時計設定を行なう必要があります。

このとき **設定** ボタン操作は受け付けません。

●年月日・時計設定を完了させないと測定できませんので注意してください。

例 2015年 8月12日を設定します。

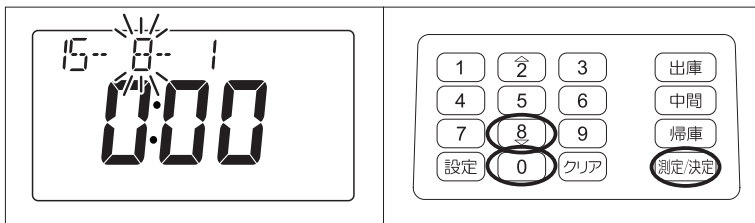


1. 数字のボタンを押して、「年」の下2桁を入力する。

例) 2015年の場合、
1 5 を押す。

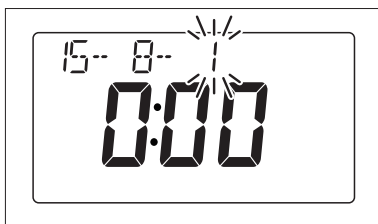


2. 測定/決定 ボタンを押す。



3. 数字のボタンを押して、「月」を入力する。

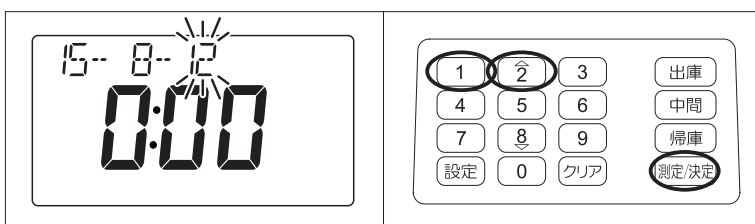
例) 8月の場合、
0 8 を押す。



4. 測定/決定 ボタンを押す。

5. 数字のボタンを押して、「日」を入力する。

例) 12日の場合、
1 2 を押す。



6. 測定/決定 ボタンを押す。

設定をする

時計の設定をする

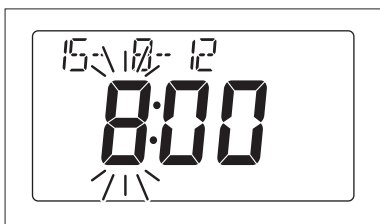
※24時間表示

例 午前8時8分の場合



1. 数字のボタンを押して、「時」を入力する。

例) 午前8時の場合、**8**を押す。

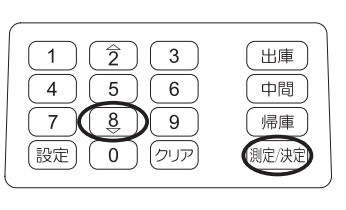


2. **測定/決定** ボタンを押す。

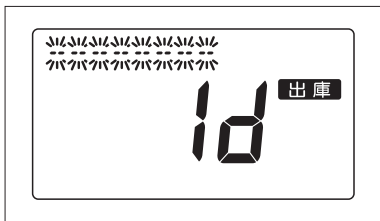


3. 数字のボタンを押して、「分」を入力する。

例) 8分の場合、**8**を押す。



4. **測定/決定** ボタンを押す。



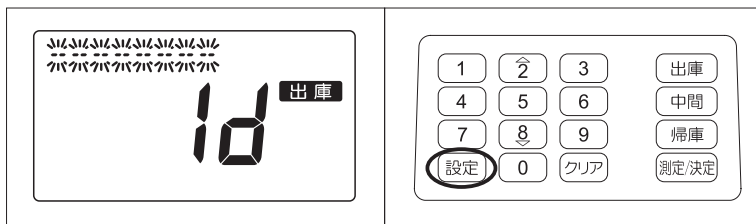
5. ID入力画面が表示される。
「ID、勤務状態を入力してください」と音声案内します。

お知らせ

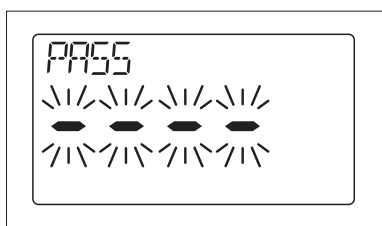
- 年月日、時計設定時に入力範囲外の数値を入力した状態で**測定/決定** ボタン押すと「入力が間違っています。」と音声案内をして決定を受け付けません。
 - ▶再度、入力範囲内の数値を入力してください。
- 年月日・時計設定入力中に入力を間違えたときは、最初から正しい数値を入れなおしてください。
- 設定中**クリア** ボタンを押すと、1つ前の設定項目に戻ります。
- ID入力画面表示の状態が約1分間続くと「年月日・時計」表示に切り替わります。
 - ▶表示画面に「年月日・時計」が表示されているときは、いずれかのボタンを押してID入力画面表示に切り替えてください。

設定モードに入る

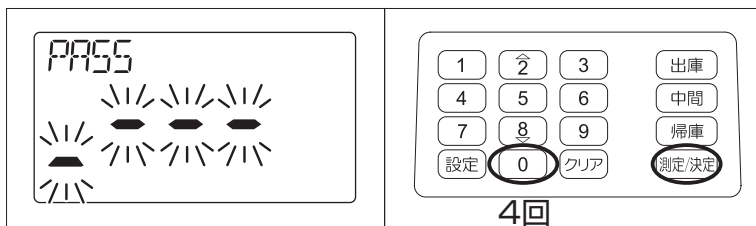
※設定モードに入るにはパスワードの入力が必要です。



1. ID入力画面が表示されている事を確認し「設定」ボタンを押す。



例 「0000」と入力する。 ※工場出荷時のパスワードは「0000」です。



2. 4桁の数字のパスワードを入力する。

例) 0000の場合、「0」を4回押す。

パスワードを入力するとバー一点減表示が一段下に移動し点減表示します。

3. 「測定/決定」ボタンを押す。

お知らせ

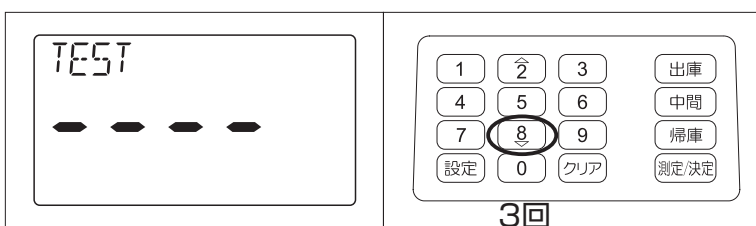
●パスワードを間違えて入力した場合は、「ピピピ」と音がして約3秒間「Er03」が表示され、ID入力画面表示に戻ります。

Er03

▶ID入力画面表示のときに「設定」ボタンを押してから再度、正しくパスワードを入力してください。

●入力途中でパスワードを間違えた場合は「クリア」ボタンを押してください。

入力が消去されてアンダーバー一点減表示からバー一点減表示に切り替わりが確認できたら正しいパスワードを入力してください。



4. 簡易点検画面表示に切り替わる。(TEST画面)

5. 「8」ボタンを3回押す。

6. 音量設定画面表示に切り替わる。

次ページ「音量の設定をする」に続きます。

設定をする

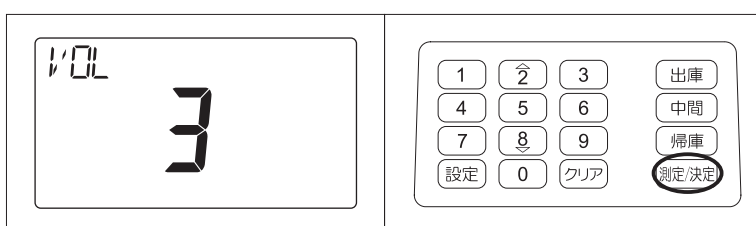
音量の設定をする

- 音声案内の音量を設定します。

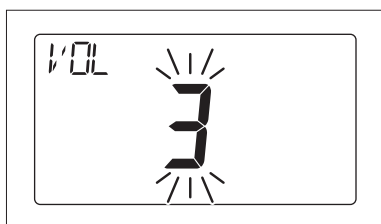
お知らせ

- 音量の設定は「音声」のみの調整です。ブザー音は調整できません。
- 音量の確認は「音量を調整します。」の音声案内で確認できます。音量を確認して最適な音量を設定してください。
- 音量「0」を選択すると音声案内は鳴らなくなくなります。

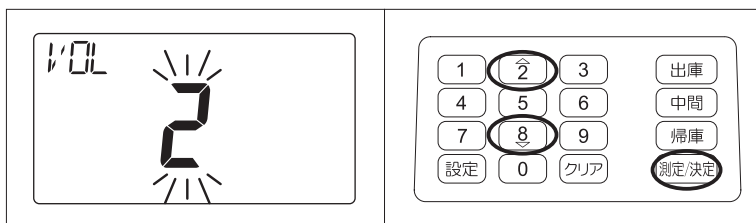
※音量設定範囲は「0～5」の範囲です。



1. 音量設定画面が表示されている事を確認し、測定/決定 ボタンを押す。

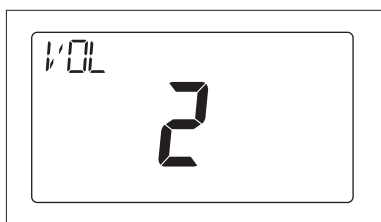


2. 音量設定画面「3」の表示が点滅する。



3. 8 または 2 ボタンを押し、設定したい音量「0～5」を選び測定/決定 ボタンを押して決定する。

8 または 2 を押す度に「音量を調整します」と音声案内します。



4. 「ピピ」と音がして音量が設定されます。

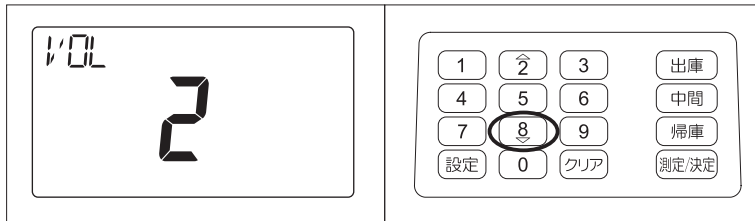
呼気中アルコール濃度測定範囲の設定をする

- 呼気中アルコール濃度測定範囲を選択して設定することができます。
必要に応じて選択設定してください。

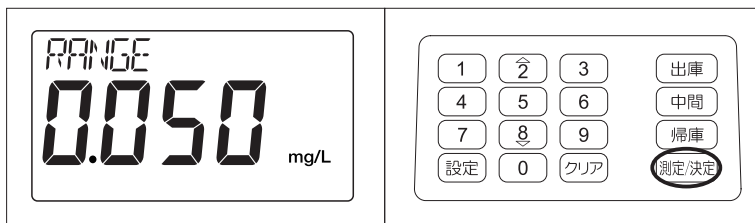
「0.050」に設定すると測定範囲は0.050mg/L～1.000mg/Lが選択されます。(工場出荷時)

「0.010」に設定すると測定範囲は0.010mg/L～1.000mg/Lが選択されます。

「0.100」に設定すると測定範囲は0.100mg/L～1.000mg/Lが選択されます。

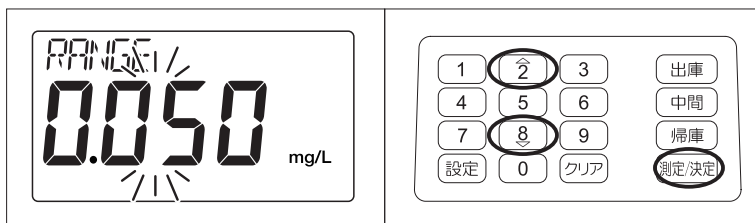


1. 音量設定画面が表示されている事を確認し、**8** ボタンを押す。



2. 呼気中アルコール濃度測定範囲設定画面表示に切り替わる。

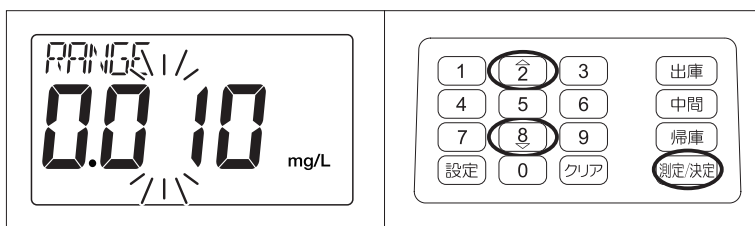
3. **測定/決定** ボタンを押す。



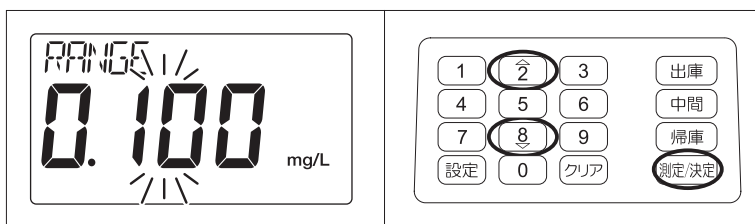
4. 「0.050」の表示が点滅する。

5. **8** または **2** ボタンを押し、設定したい呼気中アルコール濃度測定範囲「0.050」「0.010」「0.100」を選び**測定/決定** ボタンを押す。

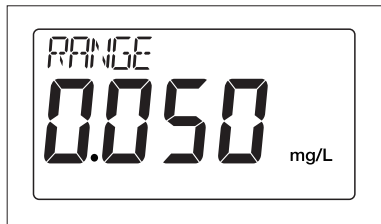
- 「0.010」測定範囲0.010mg/L～1.000mg/Lの設定をする。



- 「0.100」測定範囲0.100mg/L～1.000mg/Lの設定をする。



設定をする



6.「ピピ」と音がして呼気中アルコール濃度測定範囲が設定されます。

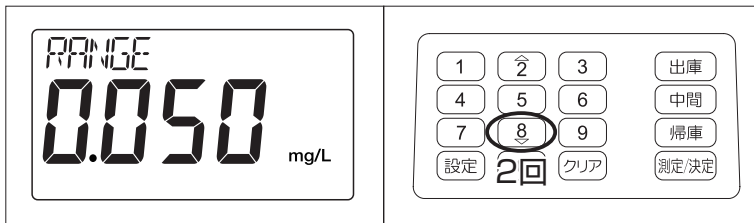
パスワードの変更をする

●パスワードは設定モードに入るための番号です。

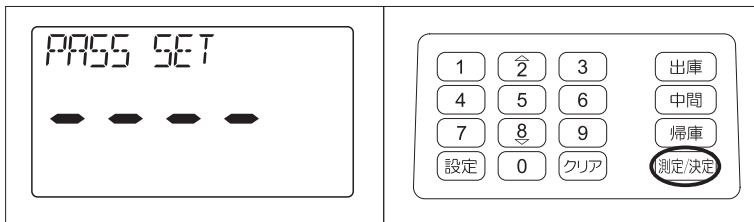
- 1)工場出荷時のパスワードから新しいパスワードに設定を変更することができます。
- 2)管理者が設定内容を管理をする場合は新しいパスワードの設定をお勧めします。
- 3)パスワードは4桁の数値を入力してください。入力数値は「0～9」です。
※4桁未満のパスワードは受け付けません。
- 4)工場出荷時のパスワードは「0000」です。

お知らせ

- 設定したパスワードは忘れないように手帳などに記録してください。
▶設定や設定内容の変更などができませんので注意してください。

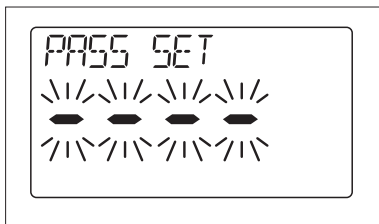


1.呼気中アルコール濃度測定範囲設定画面が表示されている事を確認し、**8** ボタンを2回押す。



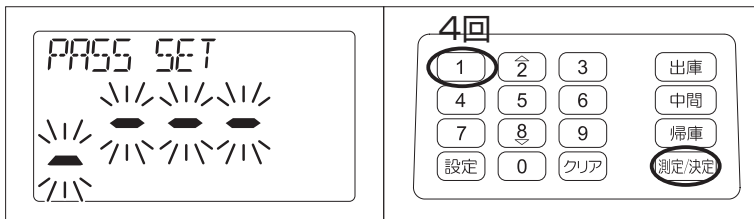
2.パスワード設定画面表示に切り替わる。

3. **測定/決定** ボタンを押す。



4.新しいパスワード入力画面表示に切り替わる。

例 「1111」と入力する。



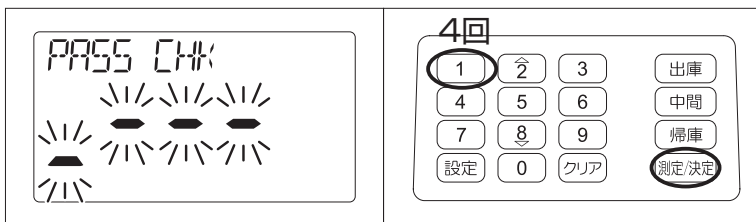
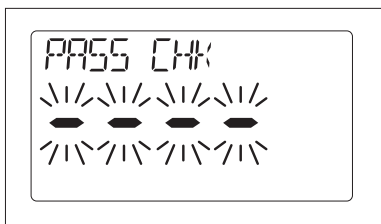
5.新しいパスワードを入力する。
1 ボタンを4回押す。

パスワードを入力するとバー点滅表示が一段下に移動し点滅表示します。

6.新しいパスワードを入力したら
測定/決定 ボタンを押す。

設定をする

前ページからのつづき



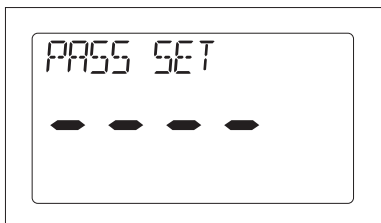
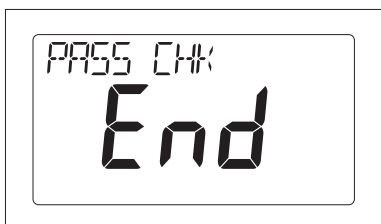
7.新しいパスワードの確認をするため、新しいパスワードを再入力する画面表示に切り替わる。

8.新しいパスワードを再入力する。
1 ボタンを4回押す。

パスワードを入力するとバー一点減表示が一段下に移動し点滅表示します。

9.新しいパスワードの再入力が終わったら測定/決定ボタンを押す。

10.「ピピ」と音がして新しくパスワードが設定された。



11.約1秒後にパスワード設定画面表示に戻る。

※新しいパスワードの入力、新しいパスワードの再入力を間違えて入力した場合は「Er03」が表示します。

※入力途中で新しいパスワードの入力を間違えた場合は (クリア) ボタンを押してください。

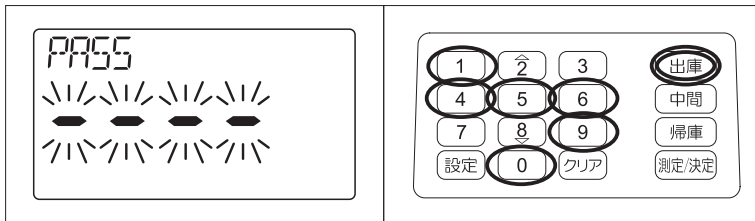
※以上で基本的な設定は終了です。

パスワードの初期化をする

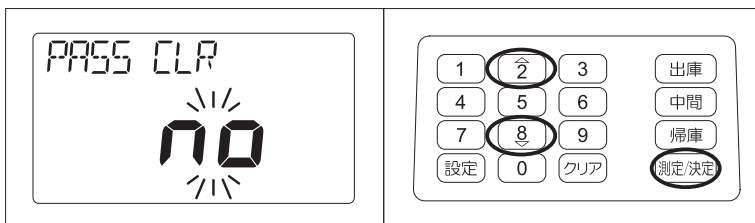
※電源が入っていない状態で

- ①電源を入れてください。
- ② **設定** ボタンを押してパスワード入力画面を表示させてください。

●設定したパスワードを工場出荷時のパスワード「0000」に戻すことができます。
設定したパスワードを忘れたときなどにご使用ください。

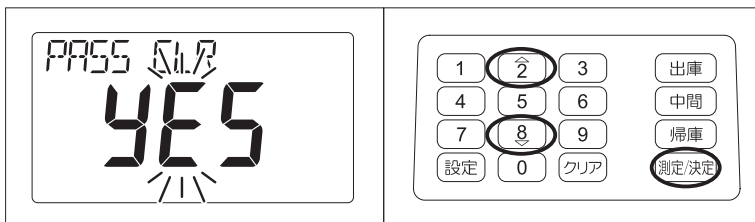


1.パスワード入力画面表示に切り替える。



2. **出庫** ボタンを押しながら
1 9 6 4 0 5 1 5
ボタンを押して、**出庫** ボタンを離す。

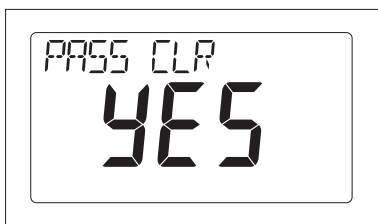
3.「no」の表示が点滅する。



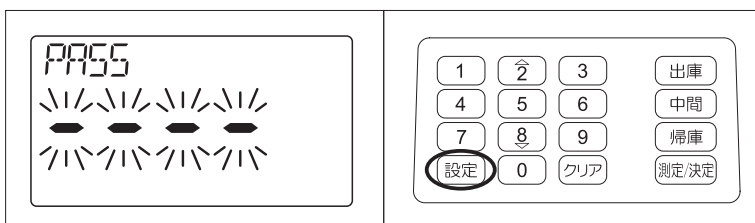
4. **8** または **2** ボタンを押す。
「YES」を表示させる。

5. **測定/決定** ボタンを押す。

※「no」を選択した場合は初期化されません。

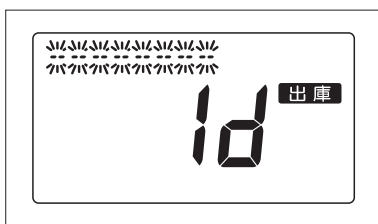


6.「ピピ」と音がしてパスワードが初期化された。

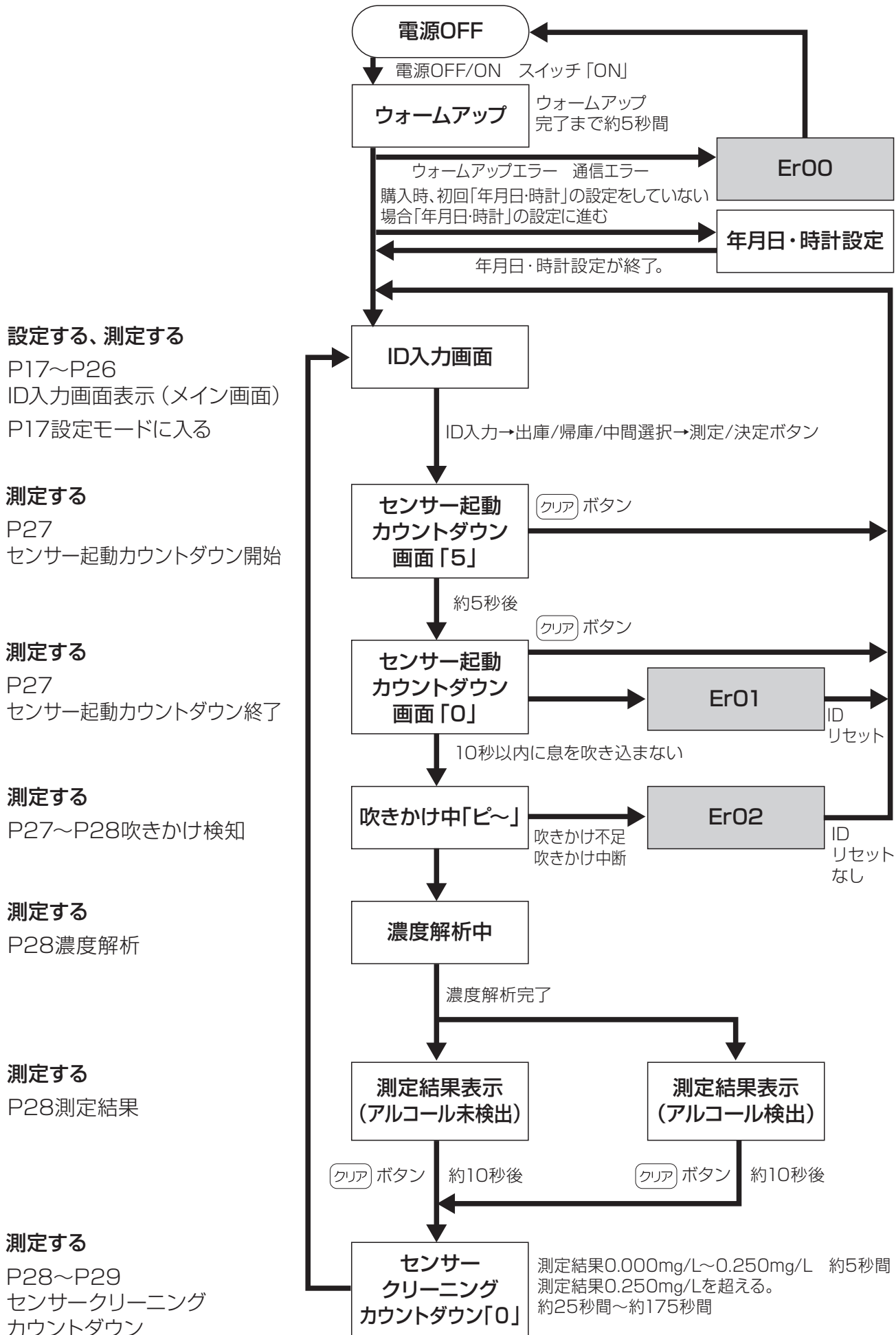


7.約1秒後にパスワード入力画面表示に戻る。

8. **設定** ボタンを押してID入力画面表示に戻る。



測定操作のフロー



設定する、測定する

P17～P26
ID入力画面表示（メイン画面）
P17設定モードに入る

測定する

P27
センサー起動カウントダウン開始

測定する

P27
センサー起動カウントダウン終了

測定する

P27～P28吹きかけ検知

測定する

P28濃度解析

測定する

P28測定結果

測定する

P28～P29
センサークリーニング
カウントダウン

測定準備

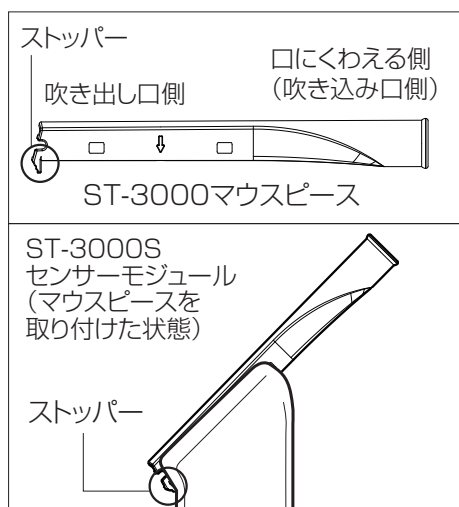
- センサーモジュールから専用センサーキャップを取り外しマウスピースを取り付けます。

警告



禁止

- 本器は飲酒運転の可否を判定するものではありません。自動車等の運転、機械操作及び危険を伴う作業をするための判断には絶対に使用しないでください。
- 車両の運転や機械の操作の最中に測定を行わないでください。
▶注意が散漫になり、思わぬ事故を起こす恐れがあります。



1. センサーモジュールにマウスピースを取り付ける。

マウスピースは端面にストッパーがついています。取り付けるときはストッパーをひっかけてからはめ込むと、所定の位置に「カチ」と音がして取り付けできます。

お知らせ

- マウスピースを取り付けるときに、マウスピースをスライドさせて取り付けないでください。
▶ガス取り込み口が破損する可能性があるので注意してください。
- マウスピースをセンサーモジュールに取り付けた状態で保管すると、においや水滴によりセンサー故障の原因になります。
▶マウスピースは測定が終わりましたらセンサーモジュールから外してください。

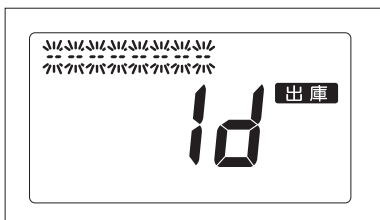
測定する

前ページからのつづき

測定開始

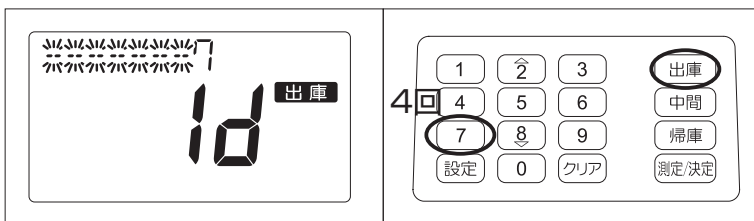
●IDとは個人を認識する番号です。IDも測定結果と一緒にメモリー保存されます。

※電源が入っていない場合は、電源OFF/ONスイッチを「ON」にしてください。



1.年月日・時計表示の場合は「測定/決定」ボタンを押すと、ID入力画面表示に切り替わる。

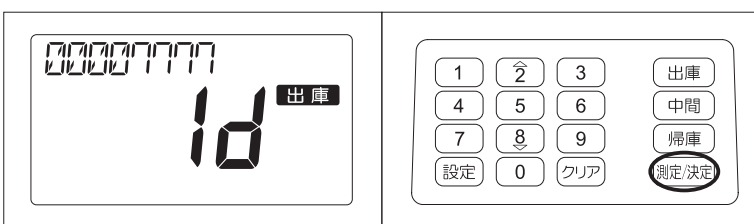
例 ID「7777」を入力する。勤務状態は「出庫」を選択する。



2.IDを入力する。
「7」ボタンを4回押す。

IDを入力するとバー表示が点滅から「7」の点灯表示に切り替わります。

3. 「出庫」ボタンを押す。



4. 「測定/決定」ボタンを押す。

※USB通信設定の確認が取れなければ「通信エラーです。」と音声案内をします。

●入力途中でID入力を間違えた場合は「クリア」ボタンを押してください。入力が消去されてバー表示が点滅から点滅に切り替わります。バー表示の点滅が確認できたら正しいIDを入力してください。

また、「クリア」ボタンを約1秒間長押しするとIDは全て削除されて最初からIDを入力することができます。

●8桁以上の数値は入力できません。

●IDは入力しなくても測定できます。測定時のIDは「00000000」となります。

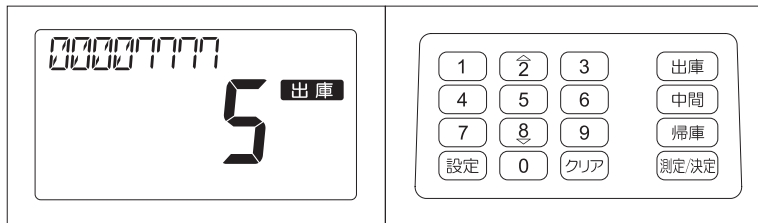
●勤務状態の入力は「出庫」「中間」「帰庫」3つのボタンを押します。運行状態によってボタンを選択して押してください。

1.「出庫」ボタンは運行開始時に押すボタンです。

2.「中間」ボタンは運行再開時に押すボタンです。

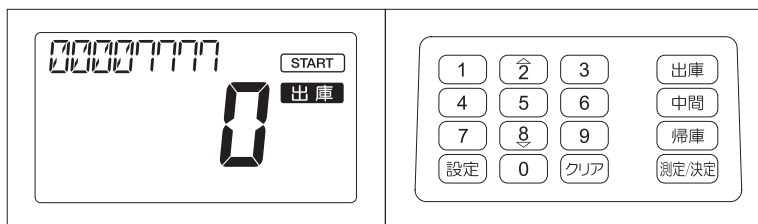
3.「帰庫」ボタンは運行終了時に押すボタンです。

●次の勤務状態を入力するときには、今回押した同じボタン表示が画面に表示されます。電源を入れなおした場合は、「出庫」ボタン表示が表示されます。

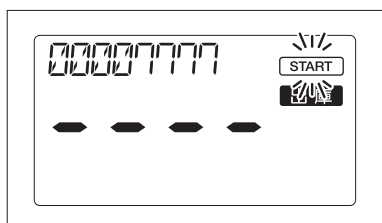


5. センサー起動カウントダウンを開始する。「測定カウントダウン中です。ブザーが鳴ったら吹きかけてください。」と音声案内をします。

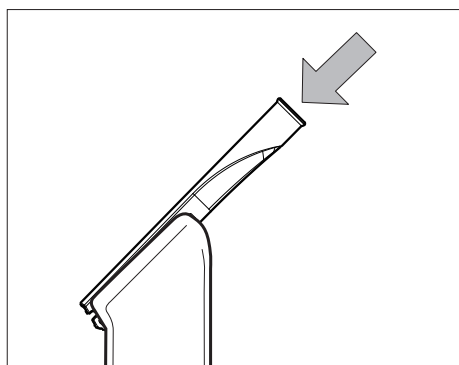
「5→4→3→2→1→0」とカウントダウンします。



6. 約5秒後に「0」となる。



7. 「ピピ」と音がして「5秒間吹きかけてください。」と音声案内して「START」の表示が点滅に切り替わる。



8. マウスピースを口にくわえて、約5秒間息を吹き込む。「ピ〜」と音がしている間、息を吹き込んでください。(約5秒間) カチッと音がしたら、口をはずしてください。

警告



禁止

- 測定のとくにマウスピース/ストローをくわえたまま、息を吸い込まない。
 - ▶ 誤って吸い込むと、故障したり、けがをすることがあります。
- 唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意する。
 - ▶ 故障するおそれがあります。

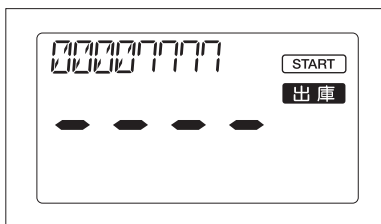
お知らせ

- 「START」表示が点滅してから10秒以内に息を吹き込んでください。
 - ▶ 「Er01」が表示、「ピピピ」と音がして「もう一度測定してください。」と音声案内のあと、IDはリセットされた状態でID入力画面表示に戻ります。

Er01

測定する

前ページからのつづき



9.吹きかけを検知する。

吹きかけ中。「吹きかけ不足」「吹きかけ中断」の判定をしています。

お知らせ

●吹きかけが不足していたり、吹きかけを途中でやめないでください。

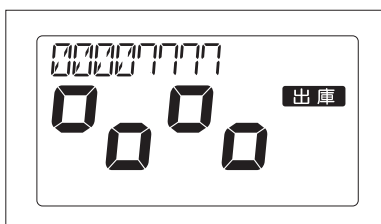
▶「Er02」が表示、「ピピピ」と音がして「もう一度測定してください。」と音声案内のあと、IDはリセットされずにID入力画面表示に戻ります。

Er02

●強く吹きかけると息が続かなくなるのでご注意ください。

●センサーモジュールの息の吹き出し口を指でふさがないでください。

▶正しく測定ができないおそれがあります。

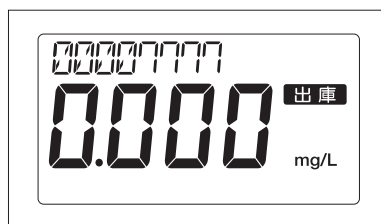


10.「解析中です。」と音声案内しアルコール濃度を解析します。

お知らせ

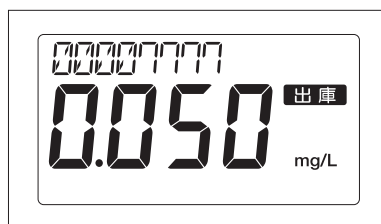
●連続測定したときや測定濃度により解析する時間が変化します。

●測定結果

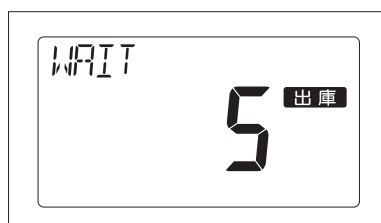


11.測定結果を約10秒間表示する。

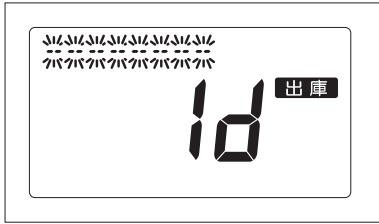
・測定結果でアルコールが検出されないときは、「アルコールは検出されませんでした。いってらっしゃいませ。」と音声案内をします。



・測定結果でアルコールが検出されたときは、「アルコールが検出されました。管理者に報告してください。」と音声案内をします。



12.センサークリーニングカウントダウン「測定準備中です。」と音声案内し「5→4→3→2→1→0」とカウントダウンします。



13.センサークリーニングカウントダウンが終了するとID入力画面表示に戻ります。

測定は終了です。

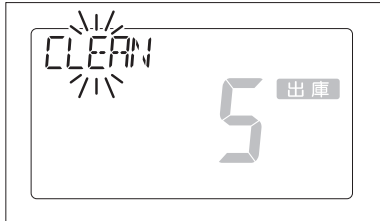
お知らせ

- 測定結果表示は約10秒間数値が点灯します。音声案内終了後 **クリア** ボタンを押すと P29 13.に移行します。
 - ▶時間短縮になります。
- 勤務状態の入力によって音声案内が変わります。アルコールが検出されないときの音声案内です。
 - 1.「出庫」ボタン選択。「アルコールは検出されませんでした。いってらっしゃいませ。」と音声案内をします。
 - 2.「中間」ボタンを選択。「アルコールは検出されませんでした。」
 - 3.「帰庫」ボタンを選択。「アルコールは検出されませんでした。お疲れさまでした。」
- アルコールが検出されたときの音声案内は勤務状態の入力に関係なく「アルコールが検出されました。管理者に報告してください。」と音声案内します。
- サーマルプリンタなし、パソコン接続なしのとき測定結果はメモリーに保存されます。サーマルプリンター付属のときは測定結果を印刷します。
- 下記の条件によりセンサークリーニングカウントダウンが約5秒～約175秒の間で自動的に切り替わります。
 - ▶測定結果0.000mg/L～0.250mg/L 約5秒間
 - ▶測定結果0.250mg/Lを超える。 約25秒間～約175秒間

クリーニング

クリーニングサイン

- 連続測定、高濃度測定時にセンサーモジュール、マウスピースにガスが残ることがあるので、測定結果表示後「CLEAN」が点滅表示されたらガスを取り除いてください。



- 連続20回以上測定を行った場合
- 高濃度測定を行った場合

※ガスが残っていると次回から正確な測定ができません。

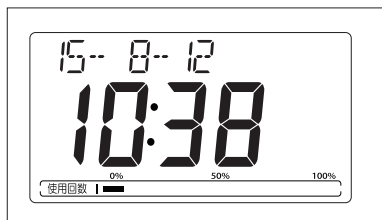
お知らせ

- 連続20回以上測定をおこなった場合、高濃度測定時に「CLEAN」が点滅表示します。
 - 1.マウスピース内に残っている場合があるので、センサーモジュールからマウスピースを外して数回振りガスを取り除いてください。
 - 2.センサーモジュールにガスが残っている場合があるので本器から外して数回振りガスを取り除いてください。
- ▶必ず水滴はふきとってください。

センサー寿命

- センサー寿命は校正有効期限の月まで使用または、70,000回測定した場合(どちらか早い方)
- センサー使用回数寿命バーグラフの表示について説明します。
- 測定結果が表示されると1回カウントされます。

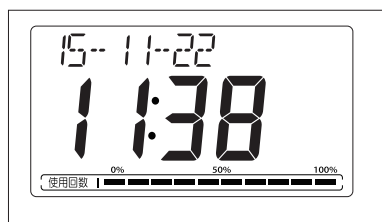
1.使用回数が7,000回するとき。



- ①7,000回測定するとセンサー使用回数寿命バーグラフのバーが1バー点灯します。

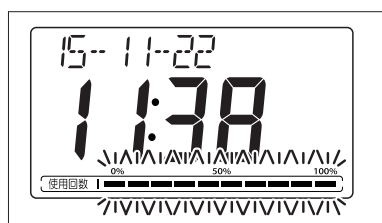
※測定を途中で中止したり、Errが出た場合はカウントされません。

2.使用回数が70,000回するとき。



- ②70,000回測定するとセンサー使用回数寿命バーグラフのバーが全て点灯します。

3.使用回数が70,000回を超えたとき。



- ③70,000回を超えて測定するとセンサー使用回数寿命バーグラフのバーが全て点滅します。

お知らせ

- 使用回数が75,000回を超えると「Er06」が表示して測定できなくなります。

▶センサーモジュール交換を実施してください。

※ID入力表示画面でID入力して「測定/決定」ボタンを押すと「ピピピ」と音がして「Er06」が約3秒点灯後ID入力画面表示に戻ります。

Er06

メモリー

メモリーをみる

- 保存された測定結果の確認ができます。

お知らせ

- メモリー件数は最大1,000件です。1,001件目からは1件目が消去されます。
- メモリーが保存されていないときは「MEMORY 0」表示になります。
- メモリー内容を選択した通信方法でパソコンに送ることができます。

1. 全てのメモリーを送信する場合

メモリー件数表示のときに「測定/決定」ボタンを約3秒間長押しをしてください。

- ①USB通信+サーマルプリンタ設定のときは全てのメモリーをパソコンに送信します。送信が終了すると本器内部メモリーから全てのメモリー内容が消去されます。
- ②USB通信設定のときは全てのメモリーをパソコンに送信します。送信が終わると本器内部メモリーから全てのメモリー内容が消去されます。

サーマルプリンタを接続しても全てのメモリーをプリントすることはできません。

2. メモリーを個別に選択して送信する場合

測定年月日・時計メモリー表示のときに「測定/決定」ボタンを約3秒間長押しをします。

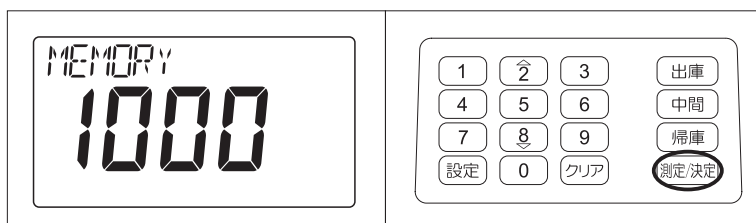
- ①サーマルプリンタ設定のときは選択したメモリーをプリントします。プリントと終わると本器内部メモリーから選択したメモリーだけが消去されます。
- ②USB通信+サーマルプリンタ設定のときは選択したメモリーをパソコンに送信します。送信が終了すると本器内部メモリーから選択したメモリーだけが消去されます。また、サーマルプリンタで選択したメモリーをプリントします。
- ③USB通信設定のときは選択したメモリーをパソコンに送信します。送信が終わると本器内部メモリーから選択したメモリーだけが消去されます。

※メモリー内容を送信するためには、パソコンとPCデータ管理アプリケーションソフトが必要です。

※通信やサーマルプリンタを未設定にしたときはメモリーの送信、プリントはできません。

※電源が入っていない状態で

- ①電源を入れてください。
- ②「設定」ボタンを押してメモリー件数画面を表示させてください。



1. メモリー件数表示に切り替える。

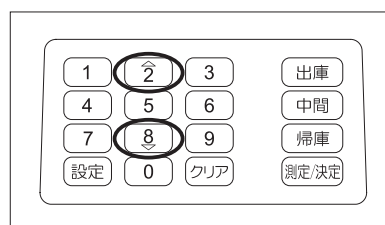
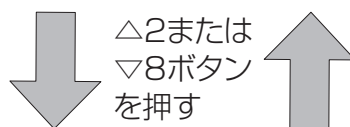
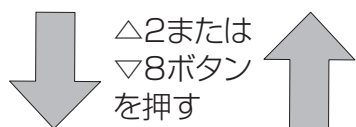
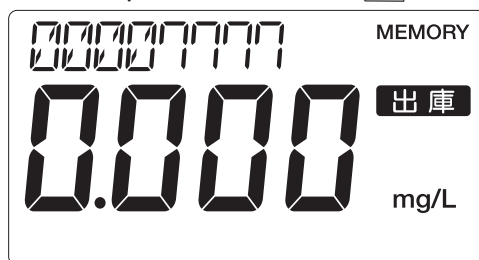
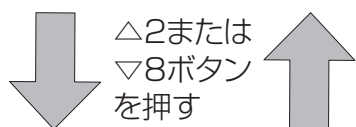
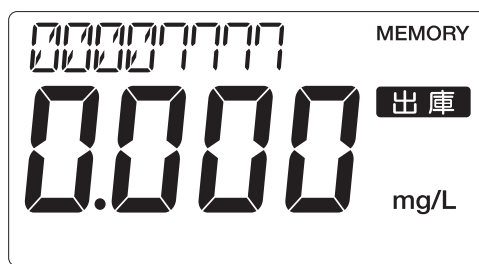
2. 「測定/決定」ボタンを押す。

3.メモリー表示に切り替わる。

測定年月日・時計メモリー表示



測定結果メモリー表示



4. **8** または **2** ボタンを押してメモリー表示を切り替える。

メモリー

メモリーのクリアをする

●保存されたメモリーを個別に消去することができます。

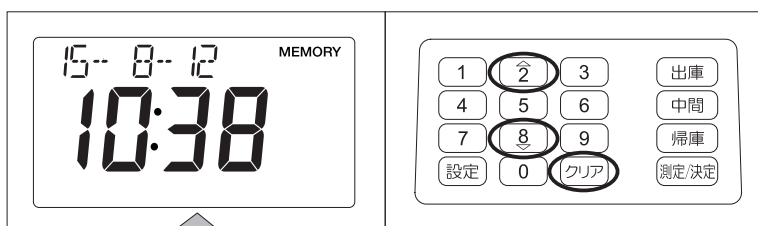
※電源が入っていない状態で

①電源を入れてください。

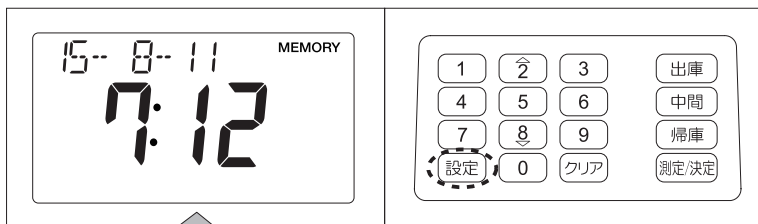
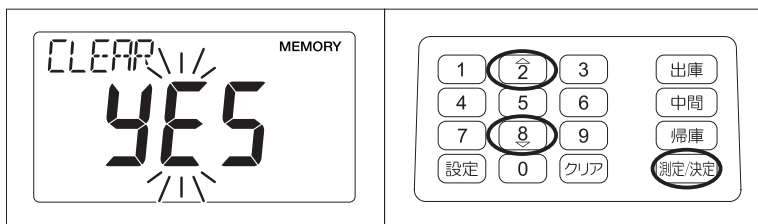
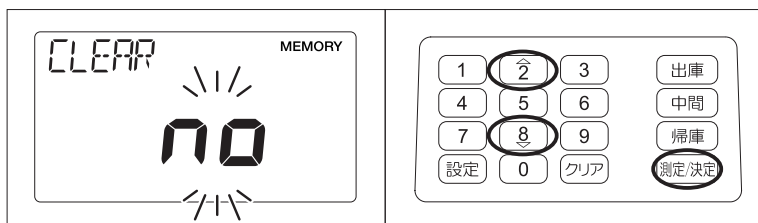
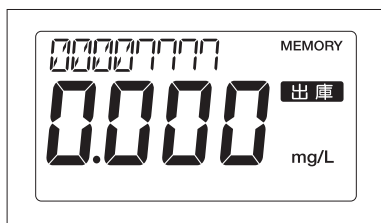
② **設定** ボタンを押してメモリー件数画面を表示させてください。

③メモリー件数が表示されている事を確認し、**測定/決定** ボタンを押すとメモリー表示に切り替わります。

測定年月日・時計メモリー表示



測定結果メモリー表示



1. **8** または **2** ボタンを押して消去したいメモリーに合わせ **クリア** ボタンを約1秒間長押しするとメモリークリア表示に切り替わる。

2. 「no」の表示が点滅する。

3. **8** または **2** ボタンを押し「YES」を表示させる。

4. **測定/決定** ボタンを押す。

※「no」を選択した場合は、メモリークリアされません。

5. 「ピピ」と音がして消去したいメモリーが消去された。

6. 約1秒後にメモリー表示に戻る。

以上でメモリーの個別消去、メモリーのクリアは終了です。

※ **設定** ボタンを押すとメモリー件数表示に戻ります。

メモリのオールクリアをする

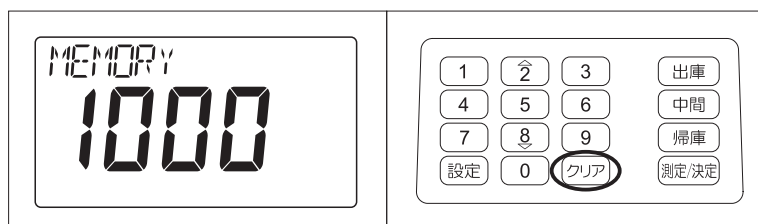
●保存されたメモリを全て消去することができます。

※電源が入っていない状態で

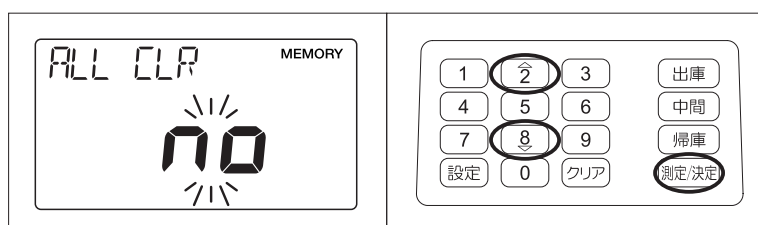
①電源を入れてください。

② **設定** ボタンを押してメモリ件数画面を表示させてください。

※メモリ数が画面に表示されます。

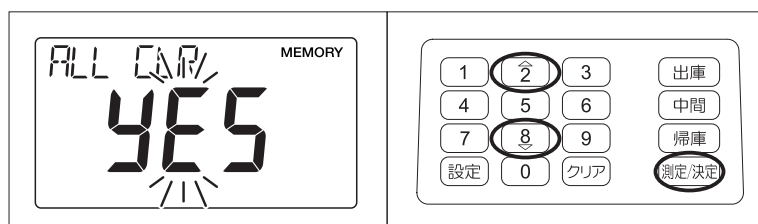


1.メモリ件数表示で **クリア** ボタンを約3秒間長押しするとメモリを全て消去できるメモリオールクリア表示に切り替わる。



2.「no」の表示が点滅する。

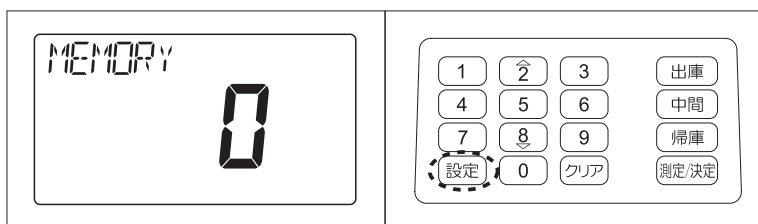
3. **8** または **2** ボタンを押し、「YES」を表示させる。



4.「YES」の表示が点滅する。

5. **測定/決定** ボタンを押す。

※「no」を選択した場合、メモリオールクリアされません。



6.「ピピ」と音がして全てのメモリが消去された。

7.約1秒後にメモリ件数表示に戻る。

以上でメモリのオールクリアは終了です。

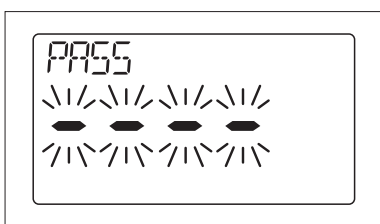
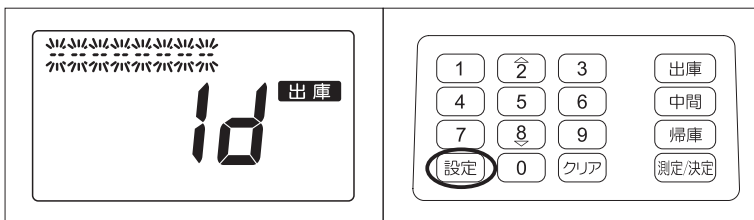
※ **設定** ボタンを押すとID入力画面表示に戻ります。

設定を変更する

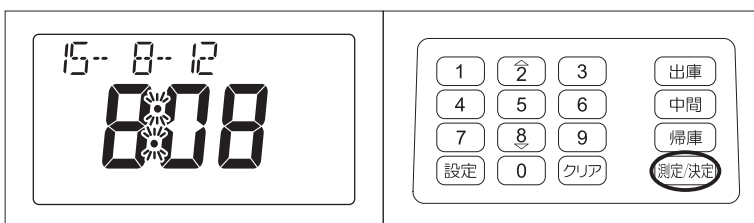
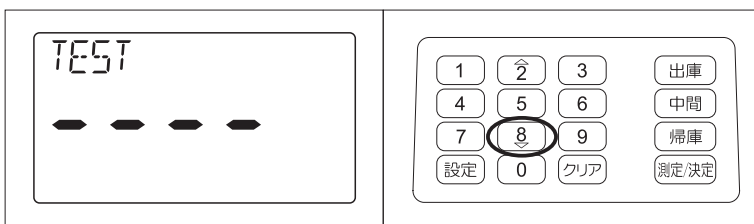
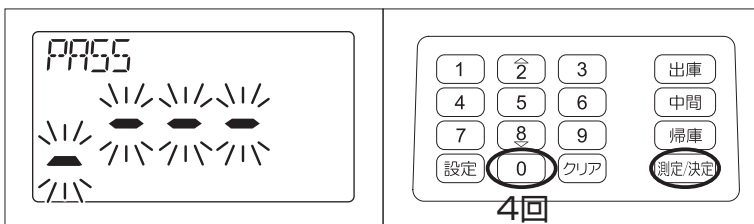
年月日・時計の設定を変更する

※電源が入っていないときは電源を入れてください。ウォームアップのあとID入力画面表示に切り替わります。

●年月日・時計設定を変更します。



例 「0000」と入力する。



1.ID入力画面表示に切り替わる。
「ID、勤務状態を入力してください。」と音声案内をする。

2. **設定** ボタンを押す。

3.パスワード入力画面表示に切り替わる。

4.パスワードを入力する。
0 ボタンを4回押す。

パスワードを入力するとバー点滅表示が一段下に移動し点滅表示します。

5.パスワードを入力したあと **測定/決定** ボタンを押す。

6.簡易点検画面表示に切り替わる。
(TEST画面)

7. **8** ボタンを押す。

8.年月日・時計設定画面表示に切り替わる。

9. **測定/決定** ボタンを押すと「年」表示が点滅する。

年月日の設定を変更する。

- 「年月日の設定をする。」P15 1.~6.と同じ操作をして年月日の設定を変更してください。

※「年」、「月」、「日」の表示が点滅表示しているときに **設定** ボタンを押すと年月日・時計設定画面表示に戻ります。変更内容は保存されません。

※変更が終了すると年月日・時計設定画面表示に戻ります。

時計の設定を変更する。

- 「時計の設定をする。」P16 1.~4.と同じ操作をして時計の設定を変更してください。

※「時」、「分」の表示が点滅表示しているときに **設定** ボタンを押すと年月日・時計設定画面表示に戻ります。変更内容は保存されません。

※変更が終了すると年月日・時計設定画面表示に戻ります。

通信設定

通信の設定をする

お知らせ

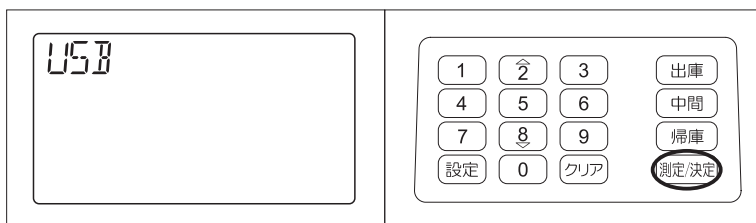
- サーマルプリンターが接続されていないと、「PRINTER」または「USB-PRT」は表示されません。
- 乾電池でご使用の場合は、「PRINTER」、または「USB-PRT」を設定することはできません。

● 測定結果をパソコンなどに送る通信方法の選択や測定結果をサーマルプリンターでプリントする方法を設定します。

- 1) 「USB」に設定するとUSB通信でパソコンに測定結果が送信されます。
- 2) 「PRINTER」に設定するとサーマルプリンターから測定結果がプリントされます。
- 3) 「USB-PRT」に設定するとUSB通信でパソコンに測定結果が送信されてサーマルプリンターから測定結果がプリントされます。
- 4) 「NC」に設定すると測定結果はメモリーに保存されます。

※電源が入っていない状態で

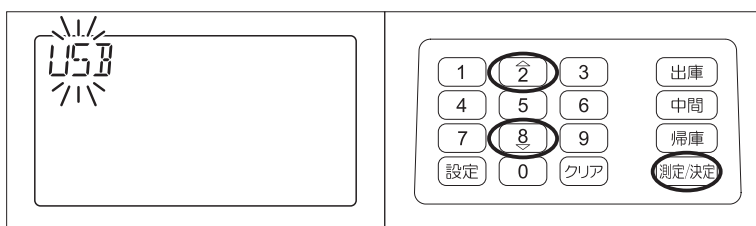
- ① 電源を入れてください。
- ② **設定** ボタンを押して通信設定画面を表示させてください。



1. 通信設定画面表示に切り替える。

2. 「USB」、「PRINTER」、「USB-PRT」または「NC」表示中に、**測定/決定** ボタンを押す。

1) USB通信の設定をする。



1. 「USB」、「PRINTER」、「USB-PRT」または「NC」の表示が点滅する。

2. **8** または **2** ボタンを押すと点滅表示が切り替わる。

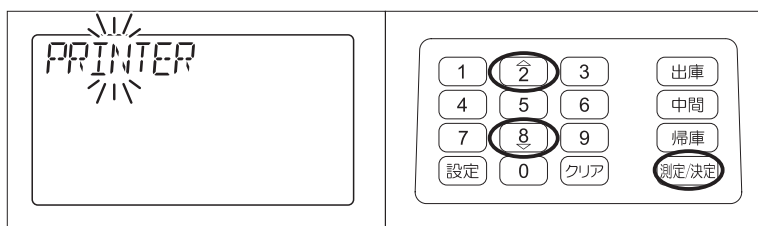
3. 「USB」が表示されたら **測定/決定** ボタンを押す。

4. 「ピピ」と音がしてUSB通信が設定されて通信設定画面表示に戻る。

USB通信の設定は終了です。

2)サーマルプリンターの設定をする。

※サーマルプリンターが接続されていないと「PRINTER」は表示されません。



1.「PRINTER」が表示されたら

測定/決定 ボタンを押す。

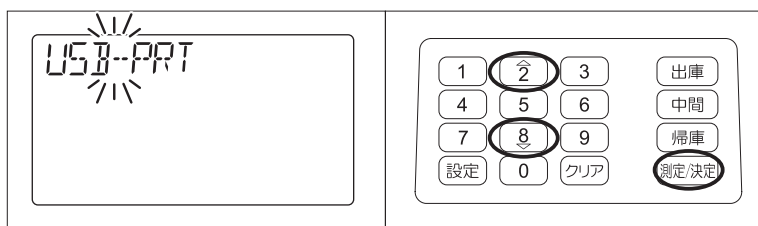
2.「ピピ」と音がしてサーマルプリンターが設定されて通信設定画面表示に戻る。

※サーマルプリンターマークが点灯します。

サーマルプリンターの設定は終了です。

3)USB通信+サーマルプリンターの設定をする。

※サーマルプリンターが接続されていないと「USB-PRT」は表示されません。



1.「USB-PRT」が表示されたら

測定/決定 ボタンを押す。

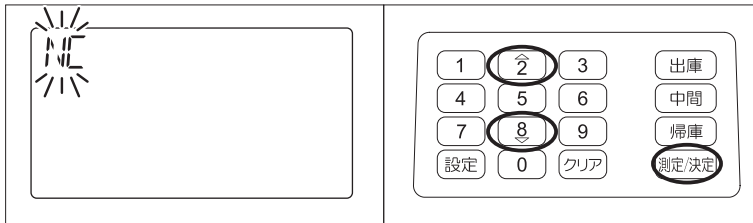
2.「ピピ」と音がしてUSB通信+サーマルプリンターが設定されて通信設定画面表示に戻る。

※サーマルプリンターマークが点灯します。

USB通信+サーマルプリンターの設定は終了です。

通信設定

4)通信やサーマルプリンターを未設定にする。



1.「NC」が表示されたら
測定/決定 ボタンを押す。

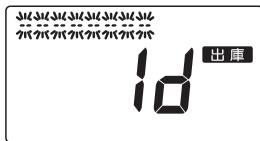
2.「ピピ」と音がして各通信やサーマルプリンターが未設定されて通信設定画面表示に戻る。

※通信設定マークは点灯しません。

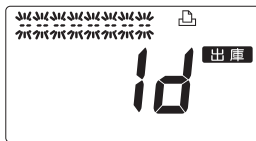
通信やサーマルプリンターの未設定は終了です。

お知らせ

- サーマルプリンター設定、またはUSB通信+サーマルプリンター設定を選択すると、サーマルプリンターマークが点灯して通信設定されていることをお知らせしています。
※USB通信に設定してサーマルプリンターを未設定にすると、サーマルプリンターマークは点灯しません。



USB通信設定
通信やサーマル
プリンター未設定



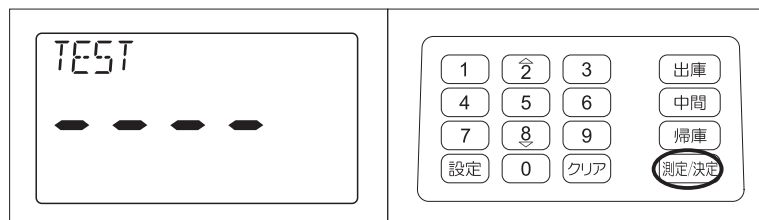
サーマルプリンター設定
USB通信+
サーマルプリンター設定

※通信設定が終了して通信設定画面表示に戻っているときに 設定 ボタンを押すと、ID入力画面に戻ります。

簡易点検

簡易点検に入ってしまったら

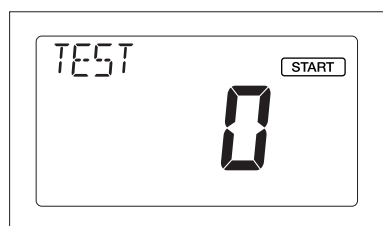
※簡易点検に使用する簡易点検キットの取り扱いは終了しております。
そのため、簡易点検の機能を使用することはできません。



簡易点検画面表示中に「測定/決定」ボタンを押すと、簡易点検のカウントダウンが開始されます。「クリア」ボタンを押して終了してください。簡易点検画面に戻ります。



「5→4→3→2→1→0」とカウントダウンします。



簡易点検を終了しない場合は「測定カウントダウン中です。ブザーが鳴ったら吹きかけてください。」の音声案内が流れ、約5秒後に「0」となります。

「START」表示が点滅してから約10秒経過すると「Er01」が表示「ピピピ」と音がした後に簡易点検画面に戻ります。

センサーモジュール交換について



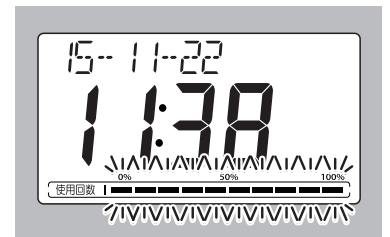
- 本器は定期的にセンサーモジュール交換を行ない一定の精度を保持する必要があります。
 - ▶センサーモジュール交換を行わずに使用された場合、精度の保証は致しかねます。継続的にお使い頂く場合には、お早めにセンサーモジュール交換をお申込みください。

■センサーモジュール交換の実施

校正有効期限の月まで使用または、70,000回測定した場合（どちらか早い方）はセンサーモジュールを交換してください。

1. 70,000回測定した場合

- ※測定を途中で中止したり、Erが出た場合はカウントされません。
- ※使用回数70,000回以上でセンサー使用回数寿命バーグラフが全て点滅します。
- ※測定結果がきちんと表示された測定の回数を自動的にカウントします。
- ※使用回数が75,000回以上で測定できません。「Er06」表示されます。



2. 校正有効期限の月まで使用した場合

- ※使用回数に関わらずセンサーの精度が時間とともに低下しています。
- ※この場合は、センサー使用回数寿命バーグラフは表示しませんのでご注意ください。
- ※本器はセンサーの特性上、校正有効期限の月まで使用または、70,000回以上測定すると一定の精度を保持できなくなる可能性があります。このような場合には精度の保証は致しかねますのでセンサーモジュール交換を必ず実施してください。

3. 「Er06」の場合

- ※使用回数が75,000回以上になると測定できなくなります。

〈センサーモジュール交換の手続き方法〉

1. サンコーテクノ株式会社にご連絡ください。

サンコーテクノ株式会社

0120-071-735 受付時間/24時間 FAX 04-7155-6325

2. 保証書をお手元に用意してください。

※保証書を紛失された場合は、サンコーテクノ株式会社へご連絡いただき、その旨お伝えください。

3. 弊社担当者より受け渡し等の手順を説明致します。

会社名、器体番号などの必要事項をお伺いし、センサーモジュール交換品の納期、必要代金等をご案内いたします。

4. センサーモジュール交換品のお届け

お届けしたセンサーモジュール交換品には新たな保証書が入っておりますので、必要事項をご記入のうえ大切に保管してください。

故障かなと思ったら


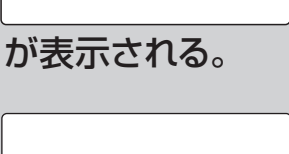

現象	ご確認ください
判定が高めにでる	<ul style="list-style-type: none"> ●口の中にアルコール成分が残っていませんか？ ▶うがいをして再度測定してください。 ●飲食直後、喫煙後、オーラルケア使用後に測定していませんか？ ▶飲食後20分以上経過してから測定してください。 ▶うがいをして再度測定してください。 ●センサーモジュールに強いにおいがしみついていませんか？ ▶本器からセンサーモジュールを外してから数回振ってにおいを取り除いてください。 ●においがある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。 ●マウスピースににおいがしみついていませんか？ ▶マウスピースを水洗いし、よく乾かしてから再度測定してください。又は新品交換してください。
判定が低めに出る	<ul style="list-style-type: none"> ●約5秒間、きちんと息を吹き込みましたか？ ▶息を吹き込む時は、約5秒間しっかりと吹き込んでください。 ●マウスピースが所定の場所にセットされていますか？ ▶マウスピースをもう一度所定の場所にセットしてから測定してください。 ●風のある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。
判定が一致しない	<ul style="list-style-type: none"> ●風のある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。 ●においがある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。 ●口の中にアルコール成分が残っていませんか？ ▶うがいをして再度測定してください。 ●飲食直後、喫煙後、オーラルケア使用後に測定していませんか？ ▶飲食後20分以上経過してから測定してください。 ▶うがいをして再度測定してください。

故障かなと思ったら

現象	ご確認ください
<p>飲酒していないのに飲酒した判定が出る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食直後、喫煙後、オーラルケア使用後に測定していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 飲食後20分以上経過してから測定してください。 ▶ うがいをして再度測定してください。 ● においがある場所で測定していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 場所を変えて測定してください。 ● センサーモジュールやマウスピースの内部にお酒のにおいが溜まっていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ マウスピースを数回振ってにおいを取り除いてください。 ▶ マウスピースをきれいに水洗いし、よくかわかしてから測定してください。 ▶ 本器からセンサーモジュールを外してから4～5回振ってください。 ● 除菌グッズ、オーラルケアグッズ等、アルコール成分を含んだものとセンサーモジュールを密閉された状態の中で保管していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ アルコール成分が含まれているものとセンサーモジュールと一緒に保管しないでください。 <p>※数値が出なくなるまでに数時間～1週間かかる場合があります。</p>
<p>電源スイッチを「ON」にしても何も表示しない。または表示が全点灯してすぐに消える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACアダプタ ● ACアダプタは正しく接続されていますか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ ACアダプタのコンセント、プラグを正しく接続してください。 ● コンセントやプラグの接続部分にゴミがついていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ コンセントやプラグのゴミを取り除いてください。 ● 専用のACアダプタを使用していますか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 専用のACアダプタを使用してください。 ● ACアダプタのコードなど断線していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 新しいACアダプタと取り替えてください。 ■ 乾電池 ● 乾電池が消耗していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 乾電池を新しいものと交換してください。 ● 乾電池が逆に入っていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 乾電池を正しく挿入してください。 ● 乾電池の電極にゴミがついていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電極のゴミを取り除いてください。

現象	ご確認ください
<div data-bbox="113 297 403 450" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-family: monospace;">Er00</div> <p data-bbox="113 461 336 499">が表示される。</p>	<p data-bbox="483 293 1126 327">●ウォームアップエラーです。／通信エラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="512 333 1326 409">▶ センサーモジュールを取り付けてから本器背面部の電源OFF/ONスイッチで電源を入れなおしてください。 <li data-bbox="512 416 1326 492">▶ 改善されない場合は故障の可能性があるので、サンコーテクノ株式会社にお問い合わせください。
<div data-bbox="113 533 403 685" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-family: monospace;">Er01</div> <p data-bbox="113 696 336 734">が表示される。</p>	<p data-bbox="483 589 1193 622">●START表示してから10秒以内に吹きかけましたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="512 629 1241 663">▶ START表示してから10秒以内に吹きかけてください。
<div data-bbox="113 768 403 920" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-family: monospace;">Er02</div> <p data-bbox="113 931 336 969">が表示される。</p>	<p data-bbox="483 813 1326 889">●吹きかけが不足していたり、吹きかけを途中でやめていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="512 896 991 929">▶ 約5秒間息を吹き込んでください。
<div data-bbox="113 1003 403 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-family: monospace;">Er03</div> <p data-bbox="113 1167 336 1205">が表示される。</p>	<p data-bbox="483 1037 991 1070">●パスワード正しく入力していますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="512 1077 1038 1111">▶ 正しいパスワードを入力してください。 <li data-bbox="512 1120 1326 1196">※パスワードを忘れた場合はP23「パスワードの初期化をする」を参照してください。
<div data-bbox="113 1238 403 1391" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-family: monospace;">Er06</div> <p data-bbox="113 1402 336 1440">が表示される。</p>	<p data-bbox="483 1261 1225 1294">●センサー使用回数が75,000回を超えていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="512 1301 1326 1377">▶ サンコーテクノ株式会社にお問い合わせいただき、速やかにセンサーモジュールを交換してください。 <p data-bbox="512 1424 1326 1500">※「Er06」が点灯するとセンサーモジュールを交換するまで測定できませんので注意してください。</p> <p data-bbox="512 1507 1326 1583">※センサーモジュール交換の場合は「センサーモジュール交換について」を参照してください。(P42)</p>
<div data-bbox="113 1619 403 1771" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-family: monospace;">Er05</div> <p data-bbox="113 1783 336 1821">が表示される。</p> <div data-bbox="113 1877 403 2029" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-family: monospace;">Er07</div> <p data-bbox="113 2040 336 2078">が表示される。</p>	<p data-bbox="483 1776 791 1809">●システムエラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="512 1816 927 1850">▶ 電源を入れなおしてください。 <li data-bbox="512 1859 1326 1935">▶ 改善されない場合は故障の可能性があるので、サンコーテクノ株式会社にお問い合わせください。

故障かなと思ったら

現象	ご確認ください
	
<p>が表示される。</p>	
	
<p>が表示される。</p>	
	<p>●システムエラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶電源を入れなおしてください。 ▶改善されない場合は故障の可能性があるため、サンコーテクノ株式会社にお問い合わせください。
<p>が表示される。</p>	
	
<p>が表示される。</p>	
	
<p>が表示される。</p>	<p>「センサー使用回数寿命表示」バーグラフ全点滅</p> <p>●センサー使用回数が70,000回を超えていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶センサーモジュール交換時期を過ぎています。速やかにセンサーモジュールを交換してください。 <p>※センサーモジュール交換の場合は「センサーモジュール交換について」を参照してください。(P42)</p>

※本器では「Er04」は表示されません。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

仕様

製品名	呼気アルコール測定器
型式	ST-3000
検知方式	燃料電池式ガスセンサー
測定対象	呼気アルコール濃度
センサー寿命	校正有効期限の月まで使用または、70,000回測定した場合(どちらか早い方)
表示方法	LCD表示
呼気中アルコール濃度測定範囲	工場出荷時:0.050~1.000mg/L 0.001mg/L単位 (0.050mg/L未満は0.000mg/L表示) 設定モード切替:0.010~1.000mg/L 0.001mg/L単位 (0.010mg/L未満は0.000mg/L表示) 0.100~1.000mg/L 0.001mg/L単位 (0.100mg/L未満は0.000mg/L表示)
呼気中アルコール濃度最小表示	0.001mg/L
メモリー	1,000件
電源	入力AC100V 出力DC9V3A ACアダプタ DC3V単1アルカリ乾電池(LR20)×4本(非常用)
使用温度範囲	5℃~35℃(結露なきこと)
保管温度範囲	0℃~40℃(結露なきこと)
外形寸法	D175×W298×H248mm (センサーモジュール取り付け、マウスピース付けた状態)
質量	約1.8kg(電池含まない)
主な材質	本器:ABS センサーモジュール:ABS マウスピース:PP 専用センサーキャップ:ABS
生産国	中国
付属品	取扱説明書(本器用)、取扱説明書(センサーモジュール用)、保証書(本器用)、 保証書(センサーモジュール用)、センサーモジュール、センサーモジュール固定用 ネジ×2本、ACアダプタ、パソコン通信用ケーブル(USB通信ケーブル)、 専用マウスピース×10本、専用センサーキャップ
通信仕様	USB サーマルプリンタ(オプション)

※デザインおよび製品仕様は予告なく変更することがあります。



サンコーテクノ株式会社

〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-14

ホームページ URL <https://st-alc.com/>

 **0120-071-735**

受付時間 /24 時間 FAX 04-7155-6325